

# 平成28年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	保健衛生推進協議会運営事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0145001000 - 001		
			分割/統合					
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	衛生費	事業所管課	環境部環境総務課				
	項	保健衛生費	連絡先	(078)918-5029				
	目	環境衛生費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 33 年度		
	事業	保健衛生推進協議会運営事業	根拠法令・要綱等	明石市保健衛生推進協議会規約				
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野		<b>実施方法</b>	直営	補助・助成	○	その他	○
	4-3 環境の保全と創造			委託	指定管理			
<b>個別計画</b>								

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	市内28小学校区の地域推薦代表により構成される明石市保健衛生推進協議会の活動を支援する。また、地域住民の自主的な実践活動による健康で明るい地域社会を実現する。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	環境月間参加団体数（一斉清掃活動団体数）	環境美化への参加意識が高まれば参加団体数が増加する。	平成28年度	団体	300
精霊流し廃棄物取りまとめ量	自治会回覧を行い、また、当日に取りまとめ場所協理会理事が、直接、廃棄物を減らすよう呼びかけることにより、廃棄物量が減少する。	平成30年度	t	14	

<b>事業内容</b>	① 小学校区選出理事28名による理事会の開催(年5回) 【理事会の開催状況】 H26年度・6回、H27年度・5回、H28年度・5回見込み	
	② 定期総会の開催(年1回) 【定期総会の開催状況】 H26年度・1回、H27年度・1回、H28年度・1回見込み	
	③ 保健衛生大会での保健衛生功労者、功労団体の表彰による保健衛生意識の奨励(年1回) 【大会の開催状況】 H26年度・1回、H27年度・1回、H28年度・1回見込み	
	④ 知事感謝受賞者とともに県保健衛生大会への参加(年1回) 【参加状況】 H26年度・1回、H27年度・1回、H28年度・1回見込み	
	⑤ 市のポイ捨て防止キャンペーンなど市行事への参加協力(年2回) H26年度・2回、H27年度・2回、H28年度・2回見込み	
	⑥ 県東播磨支部研修会の開催(年1回) H26年度・1回、H27年度・1回、H28年度・1回見込み	
	⑦ 市内14箇所で開催される精霊流し行事の廃棄物取りまとめを主催 H26年度・15.45t、H27年度・14.05t、H28年度・14t見込み	
	⑧ 環境月間における、地域及び企業等への清掃活動支援 H26年度・291団体、H27年度・300団体、H28年度・300団体見込み	

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	1,071	13,940	15,011	0	0	0	15,011	正規	0.80	アルバイト	0.50
27当初予算	1,100	12,380	13,480	0	0	0	13,480	再任用	0.00	その他	0.00
27決算	1,078	12,380	13,458	0	0	0	13,458	任期付	1.00	合計	2.30
28当初予算	1,100	9,980	11,080	0	0	0	11,080				

<b>27年度決算事業費明細</b>	区分(節)	内容	金額	<b>28年度当初予算事業費明細</b>	区分(節)	内容	金額
	需用費	消耗品費(市長感謝記念品等)	45		需用費	消耗品費(市長感謝記念品等)	50
	使用料及び賃借料	会場使用料	33		使用料及び賃借料	会場使用料	50
	負担金補助及び交付金	運営補助金	1,000		負担金補助及び交付金	運営補助金	1,000
<b>合計</b>			1,078	<b>合計</b>			1,100

## 平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0145001000-001	事務事業名	保健衛生推進協議会運営事業
------	----------------	-------	---------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	環境月間参加団体数 (一斉清掃活動団体数)	環境美化への参加意識が高まれば参加団体数が増加する。			291	300	300
		平成28年度	団体	300			
	精霊流し廃棄物取りまとめ量	自治会回覧を行い、また、当日に取りまとめ場所 で協議会理事が、直接、廃棄物を減らすよう呼び かけることにより、廃棄物量が減少する。			15.45	14.05	14
		平成30年度	t	14			
<b>指標で表せない成果</b>							
・協議会に補助金を交付することで、各校区、各地域が、それぞれその地域ごとの特色に応じた保健衛生・環境美化の取り組みを行うことができ、ひいては、その活動が市内全体の美しく住みよい環境づくりにつながっている。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
・当事業は、明石市保健衛生推進協議会の運営事業として、市内小学校区で環境美化功労者・団体の活動の奨励を行うとともに、伝統的行事である精霊流しの取りまとめなどの保健衛生活動を育成していくものであり、美しく住みよい環境を保ち、地域の美化意識向上を図るために、今後も継続していくべき事業である。 ・特に、精霊流しのお供物の取りまとめ作業は、地域の伝統的行事として毎年、多くの人が8月15日に参加し実施されている。人件費等の経費面から見ても、市が直接廃棄物(お供物)の収集を行う場合には多大な費用が必要となるため、当該事業の維持が最善であり、継続して事業を展開していく。 ・明石市保健衛生推進協議会の活動は、環境美化やごみ減量が主になっており、明石市ごみ減量推進員制度の活動内容と重複している。そのため、無駄のない活発な活動を目指して両団体の統合化を図る。						

## 平成28年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	環境対策一般事務事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0145001000 - 002				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	衛生費		<b>事業所管課</b>	環境部環境総務課				
	<b>項</b>	保健衛生費			<b>連絡先</b>	(078)918-5029			
	<b>目</b>	環境衛生費				<b>自治/法定</b>	自治+法定	<b>開始年度</b>	平成 22 年度
	<b>事業</b>	環境対策一般事務事業					<b>根拠法令・要綱等</b>	廃棄物の処理及び清掃に関する法律と同条例、明石市の環境の保全と創造に関する基本条例、労働基準法、労働安全衛生法、明石市職員安全衛生委員会規則など	
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野	<b>実施方法</b>	直営					○	補助・助成
	4-3 環境の保全と創造		委託					指定管理	
<b>個別計画</b>	環境基本計画								

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	環境部職員の安全衛生と健康の保持を推進する。 市民の環境意識の向上を図るとともに、環境に対する市民の様々な要望に応える。 環境部及び環境総務課の一般管理業務を適正かつ効率的に執行する。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	安全衛生委員会の開催回数	安全衛生委員会の開催により、事故等の未然防止が図られるため、定例として、毎月一回開催する	平成28年度	回	12
環境部安全衛生委員会独自事業の取り組み回数	環境部の業務の専門性に応じた独自の安全衛生の取り組みを企画立案し実施することで、部内の無事故無災害をめざす	平成28年度	回	2	
<b>事業内容</b>	①部の庶務業務 ②環境部職員の安全衛生の推進 【安全衛生委員会の開催状況】 H26年度・12回、H27年度・12回、H28年度・12回見込み ③職員の近接地への協議等のための旅費と廃棄物全般に関する研修旅費の執行 ④職員の貸与被服の購入 ⑤関連法規等、図書を購入 ⑥課の一般事務用品等の消耗品の購入 ⑦法で作成を義務付けられた環境事業概要書の調整など部の事業の調整 ⑧清掃事業の課題について都市清掃会議を通じ、改善を要望。兵庫県内では、正会員(19市町、4清掃事務組合)において、施設部会、管理部会、業務部会の3部会を運営(各年1回開催) ⑨清掃事業の円滑な業務遂行のため、都市清掃会議の会員が抱える課題や問題を議題とし、他市の状況や対処方法を意見交換 ⑩その他、部の各課が所管しない環境に関する業務の執行				

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
26決算	4,162	14,900	19,062	0	0	0	19,062			
27当初予算	6,584	14,980	21,564	0	0	0	21,564	正規	1.45	アルバイト 0.00
27決算	5,173	14,980	20,153	0	0	0	20,153	再任用	0.00	その他 0.00
28当初予算	5,596	14,345	19,941	0	0	0	19,941	任期付	1.00	合計 2.45

27年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	近接地旅費等	383		旅費	近接地旅費等	594
需用費	消耗品費等、燃料費、食糧費	1,617	需用費	消耗品費等、燃料費、食糧費	2,110		
役務費	手数料、火災保険料等、自動車損害保険料	104	役務費	手数料、火災保険料等、自動車損害保険料	248		
使用料及び賃借料	タクシー使用料、コピー使用料、会議室使用料	1,679	使用料及び賃借料	タクシー使用料、コピー使用料、会議室使用料	1,951		
負担金補助及び交付金	研修負担金等	450	負担金補助及び交付金	研修負担金等	504		
その他	報償費、公課費、等	940	その他	報償費、公課費、等	189		
<b>合計</b>			5,173	<b>合計</b>			5,596

## 平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0145001000-002	事務事業名	環境対策一般事務事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	安全衛生委員会の開催回数	安全衛生委員会の開催により、事故等の未然防止が図られるため、定例として、毎月一回開催する			12	12	12
		平成28年度	回	12			
	環境部安全衛生委員会独自事業の取り組み回数	環境部の業務の専門性に応じた独自の安全衛生の取り組みを企画立案し実施することで、部内の無事故無災害をめざす			2	2	2
		平成28年度	回	2			
<b>指標で表せない成果</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の新しい環境施策に関する施行前研修会に参加することにより、効果的な情報収集と施策開発が図られている。</li> <li>・都市清掃会議に参加することにより、他市の取り組み等を効率的に収集できる。</li> <li>・清掃業職員の表彰を行うことにより業務効率と意識の向上が図られている。</li> </ul>							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全衛生委員会については、法定上からも、今後も事業場で必ず開催をして職場の安全管理に取り組んでいく。</li> <li>・部庶務としては、多岐にわたる必要性の高い業務を実務しており、今後も継続して、最少の経費を以って適正に執行していく。また、職員の知見を向上することで、より効果的・効率的な環境施策を展開でき、他市との情報交換等で業務の連携が取れるよう、広域的な会議・研修等への出席を確保していく。</li> </ul>						

# 平成28年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	環境基本計画推進事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0145001000 - 003			
		<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>	<b>事業所管課</b>	環境部環境総務課			
	<b>款</b>	衛生費						
	<b>項</b>	保健衛生費						
	<b>目</b>	環境衛生費						
	<b>事業</b>	環境基本計画推進事業						
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野	<b>根拠法令・要綱等</b>	環境基本法、環境教育推進法、地球温暖化対策の推進に関する法律、生物多様性基本法、兵庫県環境の保全と創造に関する条例、明石市の環境の保全と創造に関する基本条例、明石市環境マネジメントシステム					
	4-3 環境の保全と創造							
<b>個別計画</b>	環境基本計画	<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	○	その他	
			委託	○	指定管理			

**事業の目的・目標**  
**目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）**  
 明石市内の市民、事業者及び市職員が、よりよい環境を保全、創造していくために必要な取り組みを推進することにより、自然環境を保全し回復させ、生活環境を守り育てるとともに、地球環境への影響を最小限に抑える。併せて、必要な環境教育・啓発及び人材育成を行う。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
庁内におけるエネルギー使用量の削減	環境マネジメントシステムによる環境施策の推進や省エネの促進、エコオフィス活動によるエネルギー使用量の削減	平成28年度	㎏	前年度比 1%削減
アカミミガメ防除数及び引取り匹数	緊急対策外来種であるアカミミガメの個体数が減少すれば、在来種の保護と生物多様性の保全に繋がる。	平成28年度	匹	1,000匹以上

活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)	活動実績		活動見込み
		26年度	27年度	28年度
環境マネジメントシステムの運用	環境施策及びエコオフィス活動の進捗管理を行うため、各課の環境目的・目標の管理、内部環境監査の実施及びシステムの改善を行う。	内部監査員20名 監査対象課20ヶ所	内部監査員20名 監査対象課20ヶ所	内部監査員20名 監査対象課20ヶ所
環境レポートの作成	環境基本計画の進捗状況を検証・公表するため、環境レポートを作成し、庁内外に配布する。	環境レポートの作成・配布 700部	環境レポートの作成・配布 700部	環境レポートの作成・配布 700部
エコウイングあかしの事務局運営	エコウイングあかしの事務局として、各種事業をサポートする。	イベント、役員会等の開催・参加 15回	イベント、役員会等の開催・参加 15回	イベント、役員会等の開催・参加 15回
環境審議会・自然環境部会の開催	環境審議会及び自然環境部会の運営を行う。	審議会3回 自然環境部会1回	審議会1回 自然環境部会2回	審議会4回 自然環境部会2回
生物多様性あかし戦略推進会議の開催	生物多様性あかし戦略を推進するにあたり、各主体との連携、協働による活動に繋げる。	会議の開催0回	会議の開催2回	会議の開催5回
外来種対策の実施	生物多様性あかし戦略を推進するにあたり、国の生物多様性保全推進支援事業として、明石市ミシシッピアカミミガメ対策協議会と共に、外来種であるアカミミガメの実態を把握するとともに、防除(捕獲)を行う。	瀬戸川と流域のため池5カ所で防除	赤根川と流域のため池5カ所で防除	環境省、神戸市と連携による瀬戸川流域とため池4カ所で防除調査実施
再生可能エネルギーの活用	私有財産の内、売却や賃借ができないものについては太陽光発電設備設置など再生可能エネルギーの活用について実施を目指す。	準備会3回開催 検討調整会議を1回開催	未利用地に太陽光発電設備の設置を検討	太陽光発電設備の設置場所の選定

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)				
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源					
26決算	10,391	43,460	53,851	0	0	0	53,851	<b>28年度人員配置(人)</b>	正規	4.50	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
27当初予算	6,827	36,900	43,727	0	0	0	43,727		再任用	0.00	その他	0.00
27決算	5,059	36,900	41,959	0	0	0	41,959		任期付	0.00	合計	4.50
28当初予算	7,539	36,450	43,989	0	0	0	43,989					

27年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報酬	審議会委員報酬	226		報酬	審議会委員報酬	1,193
	報償費	指導講師謝礼等	432		報償費	指導講師謝礼等	621
	需用費	消耗品費等、食糧費	437		需用費	消耗品費等、食糧費	279
	委託料	外来生物防除調査、自然環境継続調査等	3,382		委託料	外来生物防除調査、自然環境継続調査等	4,415
	旅費	近接旅費等	321		旅費	近接旅費等	453
	その他	役務費、負担金、会議室使用料等	261		その他	役務費、負担金、会議室使用料等	578
	<b>合計</b>				5,059	<b>合計</b>	

## 平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0145001000-003	事務事業名	環境基本計画推進事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	庁内におけるエネルギー使用量の削減	環境マネジメントシステムによる環境施策の推進や省エネの促進、エコオフィス活動によるエネルギー使用量の削減			11,841	11,691	11,574
		平成28年度	kℓ	前年度比 1%削減			
	アカミミガメ防除数及び引取り匹数	緊急対策外来種であるアカミミガメの個体数が減少すれば、在来種の保護と生物多様性の保全に繋がる。			2,872 (79)	1,137 (99)	1,200 (100)
		平成28年度	匹	1,000匹以上			
<b>指標で表せない成果</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境マネジメントシステムについて、環境施策の進捗管理に特化するよう見直しを行った。また、内部環境監査の実施にあたっては、監査員体制の大幅な見直しにより監査を行う側、受ける側ともに負担の軽減を実現した。</li> <li>・エコウイングあかしと協働で、環境フェア等のイベントを開催。</li> </ul>							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・低炭素社会・自然共生社会・循環型社会を目指した総合的な施策に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○低炭素社会を目指した取り組み（新たな地球温暖化対策の検討、明石の地産地消エネルギーセミナーの開催）</li> <li>○自然共生社会を目指した取り組み（生物多様性あかし戦略推進会議の開催、市内の自然環境の実態調査、アカミミガメの防除、「あかしの生態系を守る条例」の運用）</li> <li>○循環型社会を目指した取り組み（指定袋の導入検討）</li> </ul> </li> <li>・平成28年度中に、環境基本計画の見直しを行う。</li> </ul>						

## 平成28年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	環境美化推進事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0145001000 - 004			
		<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	衛生費		<b>事業所管課</b>	環境部環境総務課			
	<b>項</b>	保健衛生費		<b>連絡先</b>	(078)918-5029			
	<b>目</b>	環境衛生費		<b>自治/法定</b>	自治+法定	<b>開始年度</b>	不明	
	<b>事業</b>	環境美化推進事業		<b>根拠法令・要綱等</b>	廃棄物の処理及び清掃に関する法律・条例、明石市の環境の保全と創造に関する基本条例、墓地埋葬法			
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野	<b>実施方法</b>	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="radio"/>	その他	<input type="radio"/>
	4-3 環境の保全と創造		委託	<input type="radio"/>	指定管理			
<b>個別計画</b>								

**事業の目的**  
**目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）**  
 市民の自主的な清掃活動を支援するとともに環境美化意識の高揚と推進を図り、良好な生活空間を確保する。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
パトロールでの声かけ・注意件数	ポイ捨て・ふん害防止パトロールで声かけ・注意を行っている。	平成30年度	件	500
飼い主のいない猫の去勢不妊手術助成匹数	飼い主のいない猫の一定数が手術されることで、将来的に個体数の増加を防ぎ、地域のふん害等が減少する。	平成28年度	匹	245

**事業内容**

- ① 条例に基づく空き地の適正管理の指導  
 H26年度・73件、H27年度・66件、H28年度・70件見込み
- ② 喫煙防止・マナーアップ区域における喫煙防止運動の推進及び喫煙所の設置  
 喫煙所の適正管理、清掃、パトロールの実施 大久保駅前における喫煙所の設置
- ③ さらりん明石ポイ捨てバッテン運動の推進  
 ・ 条例に基づき、継続してパトロール、清掃等とキャンペーンを年に3～4回実施  
 ・ 啓発活動を強化し、歩行喫煙者に対して直接美化意識の向上を呼びかけたり、地域の住民や関係団体と清掃活動を展開  
 H26年度・パトロール173回、声かけ注意1,299件、協働清掃2回、H27年度・パトロール171回、声かけ注意702件、協働清掃1回  
 H28年度・パトロール180回、声かけ注意600件、協働清掃2回見込み
- ④ 空き缶等の散乱及びふん害防止条例の調整管理  
 ・ ふん害苦情 : H26年度・48件、H27年度・43件、H28年度・60件見込み  
 ・ ポイ捨て苦情 : H26年度7件、H27年度・6件、H28年度・10件見込み  
 ・ 啓発防止看板の配布を行うとともに防止パトロールの実施  
   ふん害防止看板請求枚数 : H26年度・139枚、H27年度・123枚、H28年度・150枚見込み  
   ポイ捨て防止看板請求枚数 : H26年度・28枚、H27年度・24枚、H28年度・30枚見込み  
   ふん害防止パトロール回数 : H26年度・5回、声かけ20件、H27年度・25回、声かけ63件、H28年度・20回、声かけ80件見込み  
 ・ 犬の飼い主に啓発冊子の配布と自治会と連携した「ふんの放置防止ビラ」の回覧の実施
- ⑤ アダプト制度の運用 (H22年度設立、運用開始)  
 登録団体数・4団体 (駅前アダプト)
- ⑥ 墓地等の許可事務 H26年度新規許可2件、H27年度新規許可1件、変更許可1件、H28年度変更許可1件見込み
- ⑦ 飼い主のいない猫の去勢・不妊手術に対する助成の実施  
 H26年度助成オス107匹、メス144匹、H27年度助成オス106匹、メス147匹、H28年度助成オス100匹、メス150匹予定

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	9,861	20,100	29,961	0	0	0	29,961	正規	1.25	アルバイト	0.50
27当初予算	11,800	12,740	24,540	0	0	0	24,540	再任用	0.00	その他	0.00
27決算	11,341	12,740	24,081	0	0	0	24,081	任期付	2.00	合計	3.75
28当初予算	14,648	16,225	30,873	0	0	0	30,873				

27年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	環境美化団体、精霊流し行事報奨金	1,350		報償費	環境美化団体、精霊流し行事報奨金	1,400
需用費	消耗品費等	2,278	需用費	消耗品費等	2,300		
役務費	クリーニング代	6	役務費	クリーニング代	10		
委託料	重点区域清掃、喫煙防止マナーアップ区域清掃等業務委託等	5,643	委託料	重点区域清掃、喫煙防止マナーアップ区域清掃等業務委託等	8,848		
使用料及び賃借料	大型バス借上げ料(県保健衛生大会)	79	使用料及び賃借料	大型バス借上げ料(県保健衛生大会)	90		
負担金補助及び交付金	飼い主のいない猫去勢・不妊手術助成金	1,985	負担金補助及び交付金	飼い主のいない猫去勢・不妊手術助成金	2,000		
<b>合計</b>			11,341	<b>合計</b>			14,648

## 平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0145001000-004	事務事業名	環境美化推進事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	パトロールでの声かけ・注意件数	ポイ捨て・ふん害防止パトロールで声かけ・注意を行っている。			1,299	702	600
		平成30年度	件	500			
	飼い主のいない猫の去勢不妊手術助成匹数	飼い主のいない猫の一定数が手術されることで、将来的に個体数の増加を防ぎ、地域のふん害等が減少する。			オス107 メス144	オス90 メス153	オス90 メス155
		平成28年度	匹	245			
<b>指標で表せない成果</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種活動により駅前・周辺等はきれいになっているが、そのきれいさを「ごみの散乱度」といったような指標にすることが難しい。</li> <li>・ふん害や不良な空き地の管理に対する苦情件数は事業の成果指標として表せないが、受けた苦情については、一件一件、市民の話を聞き、現場確認を行いながら対応している。</li> </ul>							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き地の適正管理の苦情については、市が所有者に苦情を伝え適正な管理を指導することで解決することも多く、今後も継続して環境保全に取り組む。</li> <li>・明石駅前周辺において、平成25年12月に、たばこを吸う方、たばこを吸わない人がお互いに気持ちよく過ごせる環境空間を創設するため、喫煙防止マナーアップ区域を設定し、喫煙所3箇所を設置した。今後も、たばこのポイ捨てに繋がる路上喫煙者に対し、直接声かけパトロールと清掃活動を行い、たばこのポイ捨て防止等の強化に取り組む。平成28年1月に、西明石駅周辺に喫煙所を設置、喫煙防止マナーアップ運動の取り組みを行う。H28年度には大久保駅周辺において喫煙所を設置し、喫煙防止マナーアップ運動を展開する。</li> <li>・ポイ捨てや飼い犬のふんの放置は個人のマナーによるところであるが、地域を挙げての取り組みが重要となるため、地域の取り組みの主となる自治会等と協力・バックアップをする体制づくりを維持していく。</li> <li>・地域のふん害等の減少を目指して、飼い主のいない猫の個体数を増やさないように、引き続き、飼い主のいない猫の去勢・不妊手術助成を行う。</li> </ul>						

## 平成28年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	環境保全啓発事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0145002000 - 001					
		<b>分割/統合</b>								
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>							
	<b>款</b>	衛生費		<b>事業所管課</b>	環境部環境保全課					
	<b>項</b>	保健衛生費			<b>連絡先</b>	(078)918-5030				
	<b>目</b>	環境衛生費				<b>自治/法定</b>	自治事務	開始年度 昭和 46 年度		
	<b>事業</b>	環境保全啓発事業					<b>根拠法令・要綱等</b> 環境基本法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法、ダイオキシン類対策特別措置法、騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法、環境の保全と創造に関する条例			
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野	<b>実施方法</b>	直営						○	補助・助成
	4-3 環境の保全と創造		委託						指定管理	
<b>個別計画</b>	環境基本計画									

**目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）**  
 ・市民及び事業者に対し、明石市の環境の現況、環境保全の重要性、環境に配慮した取り組み等について周知するとともに、事業者に対し環境保全の意識を高め、公害の未然防止を図る。  
 ・公害規制、苦情処理、環境測定等に関する各種研修に参加して、職員の能力向上を図り、公害規制全般にについて適切に

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
出前講座及び環境学習資料貸出しの件数	市民の環境保全意識を把握する上で必要な指標となる。	平成28年度	件	18
事業者に対する啓発件数	法令に基づく立入検査を行う際に、事業者に対し環境保全意識の向上を促し、公害の未然防止を図る。	平成28年度	件	500

**事業内容**

<啓発事業>  
 ①市民・事業者・行政による環境保全協議会（明石市環境保全協議会（H26:1回開催、H27:1回開催、H28:1回開催見込）、南二見東新島環境保全協議会（H26:1回開催、H27:1回開催、H28:1回開催見込））  
 ②環境学習支援制度として、出前講座（H26:2回開催、H27:3回開催、H28:3回開催見込）及び環境学習資料の提供や計器の貸し出し（H26:16件、H27:12件、H28:18件目標）  
 ③6月の自動車公害防止月間、12月の大気汚染防止推進月間での啓発用横断幕の設置、広報紙による周知等  
 ④「明石市環境の現況」の公表

<環境保全事業の一般管理事務>  
 ①近畿大気汚染常時監視連絡会（H26:2回参加、H27:2回参加、H28:2回参加見込）、騒音・振動連絡会（H26:1回開催、H27:1回参加、H28:1回参加見込）、自治体の主催する公害関係会議への出席  
 ②環境省等が主催する研修会の参加（H26:6回、H27:6回、H28:6回見込）  
 ③明石市環境保全協議会及び南二見東新島環境保全協議会の負担金の支払い  
 ④参考図書、事務用品、貸与被服、資材等の購入  
 ⑤公用車の維持管理

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	2,370	7,970	10,340	0	0	0	10,340	正規	1.10	アルバイト	0.00
27当初予算	1,673	11,620	13,293	0	0	0	13,293	再任用	0.00	その他	0.00
27決算	1,446	11,620	13,066	0	0	0	13,066	任期付	1.00	合計	2.10
28当初予算	1,482	11,510	12,992	0	0	0	12,992				

27年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	研修、連絡会等への旅費	118		旅費	研修、連絡会等への旅費	120
需用費	啓発用資材、公用車維持費等	1,013	需用費	啓発用資材、公用車維持費等	1,008		
役務費	啓発用横断幕取付け、公用車自賠責保険等	97	役務費	啓発用横断幕取付け、公用車自賠責保険等	99		
使用料及び賃借料	コピー機使用料	100	使用料及び賃借料	コピー機使用料	140		
負担金補助及び交付金	環境保全協議会負担金	110	負担金補助及び交付金	環境保全協議会負担金	110		
公課費	公用車重量税	8	公課費	公用車重量税	5		
<b>合計</b>			1,446	<b>合計</b>			1,482

## 平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0145002000-001	事務事業名	環境保全啓発事業		
------	----------------	-------	----------	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	出前講座及び環境学習 資材貸出しの件数	市民の環境保全意識を把握する上で必要な指標となる。			講師派遣(2件) 環境学習資材等貸出(16件)	講師派遣(3件) 環境学習資材等貸出(12件)	講師派遣(5件) 環境学習資材等貸出(18件)
		平成28年度	件	18			
	事業者に対する啓発件数	法令に基づく立入検査を行う際に、事業者に対し環境保全意識の向上を促し、公害の未然防止を図る。			啓発件数(435件)	啓発件数(433件)	啓発件数(500件)
		平成28年度	件	500			
<b>指標で表せない成果</b>							
・市民に対し啓発活動を行い、環境保全に対する意識の向上を図っている。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公害の未然防止や市内の環境保全のために必要な業務であり、市民及び事業者に対し啓発活動を実施し、意識向上を図る必要がある。</li> <li>・市民ニーズに合った貸し出し資材の充実、環境保全に関する情報の提供を行っていく必要がある。</li> <li>・明石市環境保全協議会(環境協定締結事業所と周辺自治会で構成)や、南二見東新島環境保全協議会(南二見東新島の企業と対岸自治会で構成)の場で、前年度の事業所の協定履行を、周辺住民と事業所が「確認」「協議」することによって、周辺住民と事業所の情報の更新や共有等を行う。</li> <li>・明石市環境保全協議会及び南二見東新島環境保全協議会については、両協議会の目的・意義等を踏まえた上で、今後のあり方について検討していく。</li> <li>・各種研修の受講及びOJTの実施により職員のスキルアップを図り、「大気」「水質」「騒音・振動」「悪臭」「土壌汚染」の対策事業を円滑に遂行できるようにする。</li> </ul>						

# 平成28年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	大気保全・悪臭対策事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0145002000 - 002				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	衛生費		<b>事業所管課</b>	環境部環境保全課				
	<b>項</b>	保健衛生費			<b>連絡先</b>	(078)918-5030			
	<b>目</b>	公害対策費				<b>自治/法定</b>	自治+法定	<b>開始年度</b>	昭和 46 年度
	<b>事業</b>	大気保全・悪臭対策事業							
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野 4-3 環境の保全と創造	<b>根拠法令・要綱等</b>	環境基本法、大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法、悪臭防止法、環境の保全と創造に関する条例、特定工場における公害防止組織の整備に関する法律						
<b>個別計画</b>	環境基本計画		<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	○	その他	
				委託	○	指定管理			

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	大気汚染防止法・悪臭防止法等の対象事業所や市民が大気中に与える汚染等の影響を削減し、大気保全を図ることで市民の健康を保護するとともに生活環境を保全する。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	事業所及び建設作業現場に対する立入調査	生活環境を保全し、近隣住民の健康を保護するため、立入（調査・指導）を行い、規制基準の遵守状況を確認する。	平成28年度	件	200件
	大気汚染の常時監視測定	法令に基づく立入検査を行う際に、事業者に対し環境保全意識の向上を促し、公害の未然防止を図る。	平成28年度	測定回数	17回
<b>事業内容</b>	①測定局(5局)での大気汚染防止法に基づく大気汚染状況の常時監視(国、県、市のインターネット上で常時公表)				
	②市内大気環境調査 有害大気汚染物質(H26:1地点・各12回、H27:1地点・各12回、H28:1地点・各12回見込)、ダイオキシン類(H26:2地点・各4回、H27:2地点・各4回、H28:2地点・各4回見込)、アスベスト(H26:7地点・各1回、H27:7地点・各1回、H28:7地点・各1回見込)				
	③微小粒子状物質(PM2.5)の成分分析(H26:1地点・各4回、H27:1地点・各4回、H28:1地点・各4回見込)				
	④大気汚染常時監視システム及び大気汚染測定機器の更新、修繕及び保守管理(H26:自動測定機2台更新、H27:3台更新、H28:2台更新見込)、(H27年度大気汚染常時監視システム更新(クラウド化))				
	⑤光化学スモッグ及びPM2.5の監視、注意報等発令時の関係機関への周知等(学校・保育所等周知対象施設数 H26:269施設、H27:278施設、H28:278施設見込)				
	⑥大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法、特定工場における公害防止組織の整備に関する法律及び環境の保全と創造に関する条例に基づく大気汚染物質発生施設にかかる届出(相談、指導、受理及び審査)業務(H26:178件、H27:113件、H28:100件見込)				
	⑦大気汚染防止法及び環境の保全と創造に関する条例に基づく届出事業所及び環境保全協定締結事業所への立入検査(H26:107件、H27:96件、H28:100件見込)				
	⑧アスベストにかかる大気汚染防止法及び環境の保全と創造に関する条例に基づく届出(相談、指導、受理及び審査)業務(H26:126件、H27:117件、H28:100件見込)				
	⑨アスベストを含む解体・改修作業現場等への立入検査(H26:76件、H27:94件、H28:100件見込)				
	⑩大気・悪臭に関する市民からの苦情相談の受付、原因調査及び発生源に対する指導(H26:65件うち重要件数36件、H27:79件うち重要件数41件、H28:75件うち重要件数40件見込)				
	⑪空間放射線量の測定及び公表、測定機器の維持管理(H26:12地点・年4回、H27:12地点・年4回、H28:12地点・年4回見込)				

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)							
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
26決算	28,663	15,130	43,793	1,643	0	0	42,150	正規	2.35	ｱﾙﾊﾞｲﾄ	0.00				
27当初予算	32,691	19,270	51,961	1,635	0	0	50,326					再任用	0.00	その他	0.00
27決算	28,122	19,270	47,392	0	0	0	47,392								
28当初予算	34,415	19,035	53,450	1,859	0	0	51,591								

27年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	消耗品、機器修繕料	1,014		需用費	消耗品、機器修繕料	2,885
	役務費	大気監視システム通信料 放射能測定器校正料	732	役務費	大気監視システム通信料 放射能測定器校正料	695	
	委託料	有害大気モニタリング調査、大気常時監視機器保守点検委託等	19,674	委託料	有害大気モニタリング調査、大気常時監視機器保守点検委託等	23,282	
	使用料及び賃借料	大気監視システム、PM2.5測定機使用料	2,732	使用料及び賃借料	大気監視システム、PM2.5測定機使用料	4,127	
	備品購入費	大気常時監視用測定機	3,844	備品購入費	大気常時監視用測定機	3,200	
	その他	・研修・協議会等への旅費 ・連絡協議会等負担金	126	その他	・研修・協議会等への旅費 ・連絡協議会等負担金	226	
	<b>合計</b>		<b>28,122</b>		<b>合計</b>	<b>34,415</b>	

## 平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0145002000-002	事務事業名	大気保全・悪臭対策事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	事業所及び建設作業現場に対する立入調査	生活環境を保全し、近隣住民の健康を保護するため、立入(調査・指導)を行い、規制基準の遵守状況を確認する。			事業所(107件) 建設作業(76件)	事業所(96件) 建設作業(94件)	事業所(100件) 建設作業(100件)
		平成28年度	件	200件			
	大気汚染の常時監視測定	法令に基づく立入検査を行う際に、事業者に対し環境保全意識の向上を促し、公害の未然防止を図る。			有害物質(12回) 大気ダイオキシン(4回) アスベスト(1回)	有害物質(12回) 大気ダイオキシン(4回) アスベスト(1回)	有害物質(12回) 大気ダイオキシン(4回) アスベスト(1回)
		平成28年度	測定回数	17回			
<b>指標で表せない成果</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全協議会にてデータの公表を行っている。</li> <li>・市民からの公害苦情に、迅速かつ誠実に対応している。</li> <li>・事業者に対し、大気汚染防止法及び県条例等に定められた責務を指導している。</li> <li>・事業者対象説明会等を実施し、法改正の周知徹底を図っている。</li> <li>・光化学スモッグ、PM2.5の監視体制を敷き、施設等への周知が迅速に実施できるようにしている。</li> </ul>							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大気汚染物質等の測定を実施し公表すること、また事業所に対して立入調査を実施することは、大気汚染防止法、悪臭防止法及び環境の保全と創造に関する条例に規定されており、法定受託事務であるため、市が実施する必要がある。</li> <li>・事業所によるデータ改ざん等の不正を見抜くなど、事業所に対する指導を強化して、市民の生活環境を保全する必要がある。</li> <li>・事業場への立入調査を充実させ、周辺環境の保全を図るとともに、公害苦情の発生を未然に防止する必要がある。</li> <li>・平成26年6月に改正大気汚染防止法が施行され、特定粉じん(アスベスト)に対する規制が強化された。住民の関心も高く、解体現場への立入調査の強化が必要である。</li> <li>・権限移譲により市が大気汚染防止法に基づく工場への規制事務を行うこととなった。工場に対する指導のノウハウを確立させ、円滑な業務の遂行を目指す。</li> </ul>						

# 平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名		水質保全対策事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0145002000 - 003			
				分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計		事業の分割/統合の内容						
	款	衛生費		事業所管課	環境部環境保全課					
	項	保健衛生費		連絡先	(078)918-5030					
	目	公害対策費		自治/法定	自治+法定	開始年度	昭和 61 年度			
	事業	水質保全対策事業		根拠法令・要綱等	環境基本法、水質汚濁防止法、土壌汚染対策法、ダイオキシン類対策特別措置法、特定工場における公害防止組織の整備に関する法律、環境の保全と創造に関する条例、明石市飲用井戸等衛生対策指導要綱					
施策分野		4 生活・環境分野		実施方法	直営	○	補助・助成	○	その他	
		4-3 環境の保全と創造			委託	○	指定管理			
個別計画		環境基本計画								

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	水質汚濁防止法・土壌汚染対策法等の対象事業所や市民が公共用水域に与える汚濁等の影響を削減し、公共用水域の水質の保全を図ることで市民の健康を保護するとともに生活環境を保全する。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	規制基準超過率 (数値が低いと良)	法対象事業所に対して立入(調査・指導)を行い排水基準遵守の徹底を図り、環境への影響を未然に防止する。 (延べ排水基準超過事業所数 / 延べ排水検査事業所数 × 100)	平成28年度	%	0
	河川の水質環境基準適合率 (数値が高いと良)	法令に基づく立入検査を行う際に、事業者に対し環境保全意識の向上を促し、公害の未然防止を図る。	平成28年度	%	100
事業内容	①主要河川(H26:5地点・各12回、H27:5地点・各12回、H28:5地点・各12回見込)及び地下水(H26:15地点・各1~2回、H27:15地点・各1~2回、H28:15地点・各1~2回見込)の水質汚濁状況の常時監視、その調査内容の国への報告、公表(河川の水質環境基準適合率 H26:100%(552/552)、H27:100%(552/552)、H28:100%(560/560)目標)				
	②海水浴場(H26:2水浴場・各8回、H27:2水浴場・各8回、H28:2水浴場・各8回見込)の水質調査及び調査内容の公表				
	③水質汚濁防止法、ダイオキシン類対策特別措置法、特定工場における公害防止組織の整備に関する法律及び環境の保全と創造に関する条例に基づく水質汚濁発生施設にかかる届出(相談、指導、受理及び審査)業務(H26:96件、H27:150件、H28:150件見込)				
	④前項法令に基づく届出事業所及び環境保全協定締結事業所への立入検査(規制基準超過率 H26:0.7%(1/146)、H27:0.7%(1/150)、H28:0.0%(0/137)目標)				
	⑤土壌汚染対策法に基づく許可申請にかかる手数料の徴収及び届出(相談、指導、受理、審査)業務(H26:33件、H27:83件、H28:50件見込)				
	⑥土壌汚染対策法に基づく現地確認調査(H26:5件、H27:8件、H28:5件見込)				
	⑦土壌汚染対策法に関する不動産照会回答業務(H26:107件、H27:91件、H28:100件見込)				
	⑧ゴルフ場農薬排水調査での明石川の水質調査(H26:2回、H27:2回、H28:2回見込)				
	⑨神戸市・明石市環境部局間定期情報連絡会議に関する調査及び調整(H26:2回開催、H27:2回開催、H28:2回開催見込)				
	⑩大阪湾環境保全協議会への参画及び分担金の負担(H26:2回参加、H27:2回参加、H28:2回参加見込)				
	⑪ひょうご環境保全連絡会への参画及び会費の負担(H26:13回参加、H27:15回参加、H28:7回参加見込)				
	⑫飲用井戸等の衛生対策指導				
	⑬水質汚濁に関する市民からの苦情相談の受付、水質調査及び発生源に対する指導(H26:10件うち重要件数7件、H27:19件うち重要件数15件、H28:10件うち重要件数10件見込)				

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	17,593	17,070	34,663	322	0	0	34,341	正規	3.05	アルバイト	0.00
27当初予算	17,991	25,010	43,001	349	0	0	42,652	再任用	0.00	その他	0.00
27決算	17,882	25,010	42,892	0	0	0	42,892	任期付	0.00	合計	3.05
28当初予算	17,938	24,705	42,643	360	0	0	42,283				

区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
旅費	研修参加等旅費	130	旅費	研修参加等旅費	162
需用費	検査用消耗品等	230	需用費	検査用消耗品等	200
役務費	薬液引き取り手数料等	65	役務費	薬液引き取り手数料等	85
委託料	水質監視分析業務(分析及び採水)	17,227	委託料	水質監視分析業務(分析及び採水)	17,227
使用料及び賃借料	会議室使用料、海水浴場水質調査船借上げ料	165	使用料及び賃借料	会議室使用料、海水浴場水質調査船借上げ料	190
負担金補助及び交付金	協議会分担金連絡会会費等	65	負担金補助及び交付金	協議会分担金連絡会会費等	74
合計		17,882	合計		17,938

## 平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0145002000-003	事務事業名	水質保全対策事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	規制基準超過率 (数値が低いと良)	<small>法対象事業所に対して立入(調査・指導)を行い排水基準遵守の徹底を図り、環境への影響を未然に防止する。 (延べ排水基準超過事業所数 / 延べ排水検査事業所数 × 100)</small>			0.7 (1/146 × 100)	0.7 (1/150 × 100)	0.0 (0/137 × 100)
		平成28年度	%	0			
	河川の環境基準適合率 (数値が高いと良)	法令に基づく立入検査を行う際に、事業者に対し環境保全意識の向上を促し、公害の未然防止を図る。			100 (552/552 × 100)	100 (552/552 × 100)	100 (560/560 × 100)
		平成28年度	%	100			
<b>指標で表せない成果</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全協議会にてデータの公表を行っている。</li> <li>・市民からの公害苦情に、迅速かつ誠実に対応している。</li> <li>・事業者に対し、水質汚濁防止法及び県条例等に定められた責務を指導している。</li> <li>・事業者対象説明会等を実施し、法改正の周知徹底を図っている。</li> </ul>							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共用水域等の水質汚濁状況の常時監視を実施し公表すること、また事業所に対して立入調査を実施することは、水質汚濁防止法や土壌汚染対策法等に規定されており、法定受託事務であるため、市が実施する必要がある。</li> <li>・事業所によるデータ改ざん等の不正を見抜くなど、事業所に対する指導を強化して、市民の生活環境を保全する必要がある。</li> <li>・事業場への立入調査を充実させ、周辺環境の保全を図るとともに、公害苦情の発生を未然に防止する。</li> </ul>						

## 平成28年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	騒音・振動対策事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0145002000 - 004		
		分割/統合					
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	衛生費					
	項	保健衛生費					
	目	公害対策費					
	事業	騒音・振動対策事業					
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野		<b>事業所管課</b>	環境部環境保全課			
	4-3 環境の保全と創造		<b>連絡先</b>	(078)918-5030			
<b>個別計画</b>	環境基本計画		<b>自治/法定</b>	自治+法定	<b>開始年度</b>	昭和 46 年度	
			<b>根拠法令・要綱等</b>	騒音規制法、振動規制法、環境の保全と創造に関する条例			
<b>実施方法</b>			直営	○	補助・助成	○	その他
			委託	○	指定管理		

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	騒音規制法、振動規制法等の対象事業所が環境に与える影響を削減し、騒音や振動環境の保全を図ることで、市民の健康を保護するとともに生活環境を保全する。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	事業所や建設作業現場に対する立入り	生活環境を保全し、近隣住民の健康を保護するため、立入（調査・指導）を行い、規制基準の遵守状況を確認する。	平成28年度	件	事業所（100件） 建設作業（100件）
	道路・鉄道の騒音・振動測定	法令に基づく立入検査を行う際に、事業者に対し環境保全意識の向上を促し、公害の未然防止を図る。	平成28年度	件	新幹線（5地点） 路線（23路線）
<b>事業内容</b>	①騒音規制法、振動規制法及び環境の創造と保全に関する条例に基づく環境に影響を及ぼす施設にかかる届出（相談、指導、受理及び審査）業務（H26: 201件、H27: 164件、H28: 150件見込）				
	②特定建設作業の実施にかかる届出（相談、指導、受理及び審査）業務（H26: 864件、H27: 851件、H28: 800件見込）				
	③事業所や建設作業現場に対する立入検査（H26: 事業所101件・建設作業現場76件、H27: 事業所85件・建設作業現場94件、H28: 事業所100件・建設作業現場100件目標）				
	④自動車騒音常時監視の実施（5ヶ年計画、H26: 23路線、H27: 23路線、H28: 23路線目標）				
	⑤都市環境騒音測定（H26: 7地点、H27: 7地点、H28: 7地点予定）、新幹線沿線における騒音・振動測定（H26: 5地点、H27: 5地点、H28: 5地点目標）				
	⑥東播磨関係市町と連携し、新幹線鉄道公害に関する情報交換やJR西日本・関係大臣・地元選出国会議員に対して、沿線環境の保全に関する要望活動				
	⑦騒音・振動に関する市民からの苦情相談の受付、原因調査及び発生源に対する指導の実施（H26: 39件うち重要件数24件、H27: 54件うち重要件数29件、H28: 50件うち重要件数30件見込）				
	⑧騒音・振動測定機器の更新、検定及び維持管理				

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)							
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
26決算	2,679	14,230	16,909	0	0	0	16,909	正規	2.50	アルバイト	0.00				
27当初予算	3,111	14,900	18,011	0	0	0	18,011								
27決算	2,330	14,900	17,230	0	0	0	17,230					再任用	0.00	その他	0.00
28当初予算	2,922	20,250	23,172	0	0	0	23,172					任期付	0.00	合計	2.50

区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
旅費	研修旅費	44	旅費	研修旅費	50
需用費	消耗品、騒音、振動測定器修繕料等	207	需用費	消耗品、騒音、振動測定器修繕料等	210
委託料	新幹線騒音・振動測定業務、環境騒音測定業務等	2,079	委託料	新幹線騒音・振動測定業務、環境騒音測定業務等	2,659
負担金補助及び交付金	研修負担金	0	負担金補助及び交付金	研修負担金	3
<b>合計</b>		2,330	<b>合計</b>		2,922

## 平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0145002000-004	事務事業名	騒音・振動対策事業
------	----------------	-------	-----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	事業所や建設作業現場に対する立入り	生活環境を保全し、近隣住民の健康を保護するため、立入(調査・指導)を行い、規制基準の遵守状況を確認する。			事業所(101件) 建設作業(100件)	事業所(85件) 建設作業(94件)	事業所(100件) 建設作業(100件)
		平成28年度	件	事業所(100件) 建設作業(100件)			
	道路・鉄道の騒音・振動測定	法令に基づく立入検査を行う際に、事業者に対し環境保全意識の向上を促し、公害の未然防止を図る。			新幹線(5地点) 路線(23路線)	新幹線(5地点) 路線(23路線)	新幹線(5地点) 路線(23路線)
		平成28年度	件	新幹線(5地点) 路線(23路線)			
<b>指標で表せない成果</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民からの公害苦情に迅速かつ誠実に対応している。</li> <li>・事業者に対し、騒音規制法等に定められた責務を指導している。</li> </ul>							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路・鉄道等の騒音・振動測定を実施し公表すること、また事業所及び建設作業現場に対して立入調査を実施することは、騒音規制法、振動規制法及び環境の保全と創造に関する条例に規定されており、法廷受託事務であるため、市が実施する必要がある。</li> <li>・建設作業に伴う騒音苦情が多いため、建設作業への指導を充実させ、騒音・振動公害を未然に防止する。</li> <li>・事業場への立入調査を充実させ、周辺環境の保全を図るとともに、公害苦情の発生を未然に防止する。</li> </ul>						

## 平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	再資源化推進事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0145004000 - 001				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	衛生費	事業所管課	環境部資源循環課					
	項	保健衛生費	連絡先	(078)918-5794					
	目	環境衛生費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 3 年度			
	事業	再資源化推進事業	根拠法令・要綱等	明石市再生資源集団回収団体助成要綱					
施策分野	4 生活・環境分野		実施方法	直営	○	補助・助成	○	その他	
	4-3 環境の保全と創造			委託	○	指定管理			
個別計画	一般廃棄物処理基本計画								

事業の目的・目標	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	・各家庭から排出される再生資源を集団回収する団体に対して助成金を交付することにより、再生資源化を推進し、ごみの減量化を図るとともに、市民のごみ分別に対する意識を高揚させる。また、集団回収活動を通じて地域住民のコミュニティ活動の振興を図ることを目的とする。 ・集団回収を補完するために紙類・布類の行政回収を行い再生資源化を更に推進する。				
	<b>成果指標</b>				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	集団回収回収量	ごみ減量推進員や協力員等と連携して、分別を更なる確に定めることにより再生資源量の増加を図り、集団回収量の下げ止まりに努める。	28	t	7,000
集団回収活動団体数	子ども会や高齢クラブ等の活動停止時には、ごみ減量推進員等と協力し、まちづくり協議会や自治会等代替りの団体に働き掛ける。	28	団体	433	
事業内容	①再生資源集団回収団体への助成金交付				
	ア 交付基準 紙類、布類、金属類、びん類の回収量1kg当たり新聞3円、雑誌・雑がみ5円、それ以外4円を助成				
	イ 交付回数 年2回（9月、3月）				
	ウ 実施経過 平成3年度より1kg3円で実施。平成10年度1kg5円に改正したが、平成19年度から1kg4円になる。平成26年度、品目別に単価を見直し、新聞3円、雑誌・雑がみ5円、それ以外4円になる。				
	エ 回収実績				
	平成26年度回収量実績 7,650t				
	平成27年度回収量実績 7,152t				
	平成28年度回収量見込み 7,000t				
	②紙類・布類の行政回収				
	ア 実施時期 地域で行われている集団回収を補完するために、平成16年11月より紙類・布類の分別収集を実施している。				
イ 回収実績					
平成26年度実績 収集量 2,729t					
平成27年度実績 収集量 2,369t					
平成28年度見込み 収集量 2,200t					

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	29,509	26,270	55,779	0	0	0	55,779	正規	2.65	アルバイト	0.00
27当初予算	33,438	26,270	59,708	0	0	23,000	36,708	再任用	0.30	その他	0.00
27決算	27,453	26,270	53,723	0	0	0	53,723	任期付	0.80	合計	3.75
28当初予算	33,087	24,565	57,652	0	0	21,000	36,652				

区分（節）	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
需用費	高速カラー印刷機用インク、集団回収業者仕切伝票	924	需用費	高速カラー印刷機用インク、集団回収業者仕切伝票	910	
委託料	紙類・布類の分別収集及び再資源化業務	0	委託料	紙類・布類の分別収集及び再資源化業務	400	
使用料及び賃借料	高速カラー印刷機賃借料	536	使用料及び賃借料	高速カラー印刷機賃借料	557	
負担金補助及び交付金	集団回収活動助成金	25,990	負担金補助及び交付金	集団回収活動助成金	31,200	
<b>合計</b>		27,453		<b>合計</b>		33,087

## 平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0145004000-001	事務事業名	再資源化推進事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	集団回収回収量	ごみ減量推進員や協力員等と連携して、分別を更に的確に進めることにより再生資源量の増加を図り、集団回収量の下げ止まりに努める。			7,650	7,152	7,000
		28	t	7,000			
	集団回収活動団体数	子ども会や高年クラブ等の活動停止時には、ごみ減量推進員等と協力し、まちづくり協議会や自治会等代替りの団体に働き掛ける。			434	433	430
		28	団体	433			
<b>指標で表せない成果</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生資源集団回収活動の助成をすることで、ごみ減量化・再資源化を推進し、地域のコミュニティ活動の振興に寄与した。</li> </ul>							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団回収活動団体数は、少子化や高齢化の影響もあり、減り続けている。</li> <li>・集団回収量が年々減り続けているが、原因としては活動団体数の減少以上に、スマートフォン等の普及による新聞や雑誌のペーパーレス化（電子化）による影響が考えられる。</li> <li>・未回収地域を精査し、集団回収量及び団体数増に向けて、自治会・子ども会等に働きかけを行う。</li> </ul>						

## 平成28年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	ごみ減量化推進事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0145004000 - 002			
		<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	衛生費						
	<b>項</b>	保健衛生費						
	<b>目</b>	環境衛生費						
	<b>事業</b>	ごみ減量化推進事業						
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野	<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市廃棄物の処理及び清掃に関する条例 明石市廃棄物の処理及び清掃に関する条例施行規則 明石市ごみ減量化推進員制度実施要領					
	4-3 環境の保全と創造							
<b>個別計画</b>	一般廃棄物処理基本計画	<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成		その他	
			委託	○	指定管理			

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	市民、事業者への多様な啓発事業を展開するとともに市民との協働を推進することにより、ごみの減量化、再資源化を図る。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	レジ袋節約枚数	レジ袋無料配布取りやめ事業者(レジ袋削減協定締結事業者)におけるレジ袋の削減率	28	%	90
施設見学参加者	明石クリーンセンター見学に参加することで、ごみ減量化・再資源化に関心を持ってもらう。	28	人	3,000	
<b>事業内容</b>	①ごみ減量化推進員制度により、ごみ減量化推進員、推進協力員を市民の方々に委嘱する。 ごみ減量化推進協力員数 平成26年度実績 1,545人 平成27年度実績 1,579人 平成28年度見込み 1,450人				
	②明石クリーンセンター、リサイクルプラザの見学による、ごみ減量化啓発業務 見学者数 平成26年度実績 3,161人 平成27年度実績 2,994人 平成28年度見込み 3,000人				
	③明石クリーンセンター常設展示場による、不要家具の再生利用業務(有償提供) 配付実績 平成26年度実績 114点 平成27年度実績 116点 平成28年度見込み 150点				
	④レジ袋削減協定締結事業者とともに、マイバッグ等の持参を呼びかけ、レジ袋削減に積極的に取り組む。 削減率 平成26年度実績 88.9% 平成27年度実績 89.4% 平成28年度見込み 89.9%				
	⑤大規模事業所に対する減量計画書等の作成及び提出、一般廃棄物処理許可業者に対し適正処理の推進。 市内対象事業所 平成26年度実績 81事業所 平成27年度実績 81事業所 平成28年度見込み 80事業所				

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	7,272	49,140	56,412	0	0	0	56,412	正規	4.55	アルバイト	0.00
27当初予算	7,016	57,520	64,536	0	0	760	63,776	再任用	1.50	その他	0.30
27決算	5,363	57,520	62,883	0	0	0	62,883	任期付	0.80	合計	7.15
28当初予算	4,958	44,395	49,353	0	0	258	49,095				

区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
旅費	近接地旅費(各種会議、研修等)	37	旅費	近接地旅費(各種会議、研修等)	90	
需用費	被服費、印刷製本費、燃料費	2,061	需用費	被服費、印刷製本費、燃料費	2,760	
使用料及び賃借料	コピー機、研修会等会場使用料	119	使用料及び賃借料	コピー機、研修会等会場使用料	250	
委託料	施設見学案内業務、一般廃棄物組成分析調査業務	963	委託料	施設見学案内業務、一般廃棄物組成分析調査業務	1,190	
その他	公用車更新に係る費用、公用車共済基金、自動車損害保険料	1,623	その他	公用車共済基金、自動車損害保険料	108	
<b>合計</b>		<b>5,363</b>		<b>合計</b>		<b>4,958</b>

## 平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0145004000-002	事務事業名	ごみ減量化推進事業
------	----------------	-------	-----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	レジ袋節約枚数	レジ袋無料配布取りやめ事業者(レジ袋削減協定締結事業者)におけるレジ袋の削減率			88.9%	89.4%	89.9%
		28	%	90			
	施設見学参加者	明石クリーンセンター見学に参加することで、ごみ減量化・再資源化に関心を持ってもらう。			3,161	2,994	3,000
		28	人	3,000			
<b>指標で表せない成果</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ減量化、再資源化に対する市民意識の向上。</li> </ul>							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ減量推進員並びに推進協力員に対する研修会等の、さらなる充実を図る。</li> <li>・明石クリーンセンターの施設見学や出前講座を通じて減量化・再資源化の必要性について、市民の理解を求め、積極的な啓発促進事業の展開を目指す。</li> <li>・レジ袋削減協定締結事業者が個々に掲げる削減目標は、80%程度ですが、現段階における実績値は目標値を超えているため、本市における目標値についても、90%とした。</li> <li>・明石市保健衛生推進協議会の活動は環境美化やごみ減量が主になっており、明石市ごみ減量推進員制度の活動内容と重複している。そのため、むだのない活発な活動を目指して、両団体の統合化を図る。</li> </ul>						

## 平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名		一般廃棄物処理計画推進事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0145004000 - 003		
			分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	衛生費	事業所管課	環境部資源循環課				
	項	保健衛生費	連絡先	(078)918-5794				
	目	環境衛生費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 17 年度		
	事業	一般廃棄物処理計画推進事業	根拠法令・要綱等	明石市の環境の保全及び創造に関する基本条例 明石市の環境の保全及び創造に関する基本条例施行規則				
施策分野		4 生活・環境分野	実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		4-3 環境の保全と創造		委託		指定管理		
個別計画		一般廃棄物処理基本計画						

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	一般廃棄物処理基本計画（平成28年5月策定）で掲げている基本施策の実施状況を把握し、PDCA(Plan-Do-Check-Action)サイクルによる点検・評価・改善を行い、更なる一般廃棄物の減量化・再資源化を推進する。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	計画推進項目達成度（平成28年5月改定）	基本理念の実現を図るための具体的な取組内容として、推進項目（35項目）を定め、各施策の展開を図る。	37	項目	35
	市ごみ処理量	クリーンセンターで処理するごみの量（市ごみ処理量）を計画目標年度37年度において、平成26年度の97,025t/年から約17,000t/年削減を目指します。	37	t/年	80,000

事業内容	一般廃棄物処理基本計画の進捗管理				
	①資源循環推進部会の開催回数 平成28年度は、5月に策定を行った本計画の進捗管理を行う。 平成26年度 2回（一般廃棄物処理基本計画の進捗管理） 平成27年度 5回（一般廃棄物処理基本計画の改定審議） 平成28年度見込み 0回				
	②指標（市ごみ処理量） 平成26年度 97,025 t 平成27年度 96,240 t 平成28年度見込み 95,026 t				

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	240	13,940	14,180	0	0	0	14,180	正規	1.65	アルバイト	0.00
27当初予算	5,990	14,200	20,190	0	0	0	20,190	再任用	0.00	その他	0.00
27決算	5,149	14,200	19,349	0	0	0	19,349	任期付	0.30	合計	1.95
28当初予算	1,332	14,145	15,477	0	0	0	15,477				

27年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	報酬	資源循環推進部会委員報酬	287		445	報酬	資源循環推進部会委員報酬
報償費	部会の調査・指導に対する謝礼（会長、副会長）	82	205	報償費	部会の調査・指導に対する謝礼（会長、副会長）	205	
役務費	部会会議録作成用速記料	146	293	役務費	部会会議録作成用速記料	293	
使用料及び賃借料	部会会場使用料	29	210	使用料及び賃借料	部会会場使用料	210	
委託料	一般廃棄物処理基本計画改定業務	4,493	179	その他	部会開催に係る旅費及び食糧費	179	
その他	部会開催に係る旅費及び食糧費	112					
合計			5,149	合計			1,332

## 平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0145004000-003	事務事業名	一般廃棄物処理計画推進事業
------	----------------	-------	---------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	計画推進項目達成度 (平成28年5月改定)	基本理念の実現を図るための具体的な取組内容として、推進項目(35項目)を定め、各施策の展開を図る。			28/37	28/37	23/35
		37	項目	35			
	市ごみ処理量	クリーンセンターで処理するごみの量(市ごみ処理量)を計画目標年度37年度において、平成26年度の97,025t/年から約17,000t/年削減を目指します。			97,025	96,240	95,026
		37	t/年	80,000			
<b>指標で表せない成果</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民、市内事業者に対す計画推進項目の周知徹底及び普及啓発に係る評価、並びに環境に対する意識の向上度など</li> <li>・計画進捗管理に係る審議会(専門部会)の審議等に係る評価</li> </ul>							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年5月に改定された明石市一般廃棄物処理基本計画の進捗管理について、環境審議会(専門部会)による本計画の点検、評価、改善を引き続き行う。</li> <li>・基本計画に掲げる推進項目により、各種施策の新たな展開を図り、更なるごみの減量化及び再資源化を目指す。</li> </ul>						

# 平成28年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	食用油・小型家電リサイクル事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0145004000 - 004						
		<b>分割/統合</b>									
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>								
	<b>款</b>	衛生費		<b>事業所管課</b>	環境部資源循環課						
	<b>項</b>	保健衛生費			<b>連絡先</b>	(078)918-5794					
	<b>目</b>	環境衛生費				<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 20 年度		
	<b>事業</b>	食用油・小型家電リサイクル事業									
<b>施策分野</b>		4 生活・環境分野					<b>根拠法令・要綱等</b>		廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
		4-3 環境の保全と創造									
<b>個別計画</b>		一般廃棄物処理基本計画		<b>実施方法</b>			直営	<input type="radio"/>	補助・助成		その他
						委託	<input type="radio"/>	指定管理			

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設(小学校・保育所等)及び一般家庭からの廃食用油の回収。</li> <li>・一般家庭からの「小型電子機器等」の回収。(ボックス回収・拠点回収・ピックアップ回収)・廃食用油については、バイオディーゼル燃料に変え、ごみ収集車等で使用し二酸化炭素の削減により地球温暖化防止を図る。</li> <li>・小型電子機器については有用金属のリサイクルを図り、最終処分場の延命化を図っている。</li> <li>・職員と障害者による廃食用油及び小型電子機器等の拠点回収を障害者のキャリアアップ事業として行っている。</li> </ul>				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	Co2削減量	廃食用油回収量 × 2.62kg	28	kg	99,560
小型家電リサイクル量	売買取引量	28	kg	2,400	
<b>事業内容</b>	①廃食用油の回収状況(単位 L)				
	平成26年度実績 合計 33,594.0 小学校 15,492.7 保育所 4,843.4 その他 765.6 一般家庭 12,492.3				
	平成27年度実績 合計 37,391.9 小学校 17,803.2 保育所 5,243.0 その他 768.7 一般家庭 13,577.0				
	平成28年度見込み 合計 38,000.0				
	②回収してきた廃食用油を売却(BDF燃料精製業者)				
	平成26年度実績 1円/L (税込み)				
	平成27年度実績 1円/L (税込み)				
	平成28年度見込み 1円/L (税込み)				
	③BDF燃料の購入				
	平成26年度実績 24,732L・107円/L (税抜き)				
平成27年度実績 22,180L・107円/L (税抜き)					
平成28年度見込み 24,000L・107円/L (税抜き)					
④ごみ収集車及び廃食用油回収車両のBDF使用量(単位 L)					
平成26年度実績 合計 24,890.1 ごみ収集車 19,330.0 明石クリーンセンター 5,560.1					
平成27年度実績 合計 22,985.4 ごみ収集車 17,787.7 明石クリーンセンター 5,197.7					
平成28年度見込み 合計 24,000					
⑤平成27年度 一般家庭を対象にした廃食用油拠点回収(30ヶ所)を実施(内無人回収拠点7ヶ所)					
⑥平成27年度 一般家庭を対象にした小型家電BOX回収(8ヶ所)、拠点回収(12ヶ所)を実施及び明石クリーンセンターへの直接持込での回収実施					
平成28年度見込み 小型家電BOX回収2~3ヶ所増設					
⑦小型家電回収状況					
平成26年度実績 24,372kg					
平成27年度実績 22,474kg					
平成28年度見込み 24,000kg					
⑧小型家電の売却					
平成26年度実績 7.00円/kg (税込み)					
平成27年度実績 6.00円/kg (税込み)					
平成28年度実績 9.72円/kg (税込み)					

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	4,932	24,050	28,982	0	0	0	28,982	正規	2.15	アルバイト	0.00
27当初予算	6,181	37,010	43,191	0	0	185	43,006	再任用	1.20	その他	2.70
27決算	4,147	37,010	41,157	0	0	0	41,157	任期付	0.10	合計	6.15
28当初予算	5,704	24,995	30,699	0	0	173	30,526				

27年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	障害者就労支援技法研修講師謝礼	20		報償費	障害者就労支援技法研修講師謝礼	20
旅費	全国BDF利用推進協議会、近接地旅費	31	旅費	全国BDF利用推進協議会、近接地旅費	72		
需用費	消耗品費、回収車両修繕費及び燃料費	3,595	需用費	消耗品費、回収車両修繕費及び燃料費	4,920		
委託料	廃食用油分析業務委託	98	委託料	廃食用油分析業務委託	106		
備品購入費	使用済小型家電回収ボックス	324	備品購入費	使用済小型家電回収ボックス	400		
その他	公用車共済基金、全国BDF利用推進協議会負担金	79	その他	公用車共済基金、全国BDF利用推進協議会負担金	186		
<b>合計</b>			<b>4,147</b>	<b>合計</b>			<b>5,704</b>

## 平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0145004000-004	事務事業名	食用油・小型家電リサイクル事業
------	----------------	-------	-----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	Co2削減量	廃食用油回収量 × 2.62kg			88016	97,964	99,560
		28	kg	99,560			
	小型家電リサイクル量	売買取引量			24,372	22,474	24,000
		28	kg	24,000			
<b>指標で表せない成果</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者雇用キャリアアップ事業における障害者のスキルアップ。</li> <li>・小型家電リサイクルについては、事前調査後の継続回収から本格回収へのスムーズな移行を行った。</li> </ul>							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食用油リサイクルについては、回収拠点の増設を行い市民の利便性向上を図る。</li> <li>・小型家電リサイクルについては、市民が小型家電のリサイクルに協力して頂きやすい回収方法の整備。また、回収拠点の増設を図る。</li> </ul>						

## 平成28年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	清掃総務一般事務事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0145005000 - 001			
		<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	衛生費						
	<b>項</b>	清掃費						
	<b>目</b>	清掃総務費						
	<b>事業</b>	清掃総務一般事務事業						
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野		<b>事業所管課</b>	環境部収集事業課				
	4-3 環境の保全と創造		<b>連絡先</b>	(078)918-5780				
<b>個別計画</b>	一般廃棄物処理基本計画		<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	不明		
			<b>根拠法令・要綱等</b>	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
<b>実施方法</b>			直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
			委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		

**事業の目的・目標**  
**目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）**  
 一般廃棄物の収集運搬業務を適正かつ安全に行うため必要な措置を実施するとともに、計画的な建物設備等の保全を行い、施設の延命化を図る等適正な維持管理を行う。また、課の一般事務や、事故防止、安全作業の啓発等の安全衛生管理を行う。

成果指標					
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値	
施設の維持管理業務の委託数	施設や各種設備の点検を行い、安全・適正に維持するための管理業務を民間の専門業者に業務委託することを成果指標とする。	平成28年度	件	4	
公務災害申請件数	ごみ収集運搬業務が安全かつ適正に行われていることを成果指標とする。(少ない方が良)	平成28年度	件	4	

**事業内容**  
 ごみ収集業務における一般管理事務及び収集事業課事務棟等維持管理事業  
 ①建物・設備の維持管理業務委託  
 ②課の庶務事務(需用費、負担金等の執行を含む)  
 ③各種研修会参加の手続、環境大臣、全都清会長、県知事など表彰の推薦  
 ④必要な資格を取得するため講習の受講  
 ⑤事故などの災害が発生した場合に、類似災害の再発防止対策検討会を開催し、再発防止に取り組む

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	18,365	16,880	35,245	0	0	0	35,245	正規	1.60	アルバイト	0.00
27当初予算	19,901	14,420	34,321	0	0	581	33,740	再任用	0.00	その他	0.00
27決算	18,263	14,420	32,683	0	0	573	32,110	任期付	0.50	合計	2.10
28当初予算	21,134	14,260	35,394	0	0	581	34,813				

27年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	近接地旅費	32		旅費	近接地旅費	110
需用費	図書等その他消耗品、光熱水費	5,276	需用費	図書等その他消耗品、光熱水費	5,527		
役務費	電話料金	129	役務費	電話料金	134		
委託料	施設の維持管理業務委託料等	12,458	委託料	施設の維持管理業務委託料等	13,707		
使用料及び賃借料	コピー代、NHK受信料等	249	使用料及び賃借料	コピー代、NHK受信料等	260		
その他	備品購入費、講習受講負担金	119	その他	備品購入費、研修参加負担金、敷地内道路補修工事費	1,396		
<b>合計</b>			18,263	<b>合計</b>			21,134

## 平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0145005000-001	事務事業名	清掃総務一般事務事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	施設の維持管理業務の委託数	施設や各種設備の点検を行い、安全・適正に維持するための管理業務を民間の専門業者に業務委託することを成果指標とする。			4	4	4
		平成28年度	件	4			
	公務災害申請件数	ごみ収集運搬業務が安全かつ適正に行われていることを成果指標とする。(少ない方が良)			4	8	4
		平成28年度	件	4			
<b>指標で表せない成果</b>							
・1日も欠かすことのできない家庭系一般廃棄物の収集運搬業務が滞りなく行えるように、事務所棟の維持管理や安全衛生業務を行っている。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
・機械警備業務、建物維持管理業務・清掃業務などの委託化を図り、経費の削減に努めている。 事務所棟の建物が築16年を経過しており、今後、外壁の塗装、電気・電話設備、空調設備などを計画的に保全しながら、建物の長寿命化を図る。						

# 平成28年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	ごみ収集運搬事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0145005000 - 002				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	衛生費		<b>事業所管課</b>	環境部収集事業課				
	<b>項</b>	清掃費			<b>連絡先</b>	(078)918-5780			
	<b>目</b>	ごみ処理費				<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	昭和 34 年度
	<b>事業</b>	ごみ収集運搬事業							
<b>施策分野</b>		4 生活・環境分野	<b>根拠法令・要綱等</b>				廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
		4-3 環境の保全と創造							
<b>個別計画</b>		一般廃棄物処理基本計画	<b>実施方法</b>	直営	○		補助・助成	その他	
				委託		指定管理			

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	明石市内の一般家庭から排出される家庭系一般廃棄物の直営地域の収集運搬において、直営部門が保有する資源（人や車）の高度活用を行いながら、一般廃棄物処理計画に基づき、適正、円滑、効率的に実施し、市民サービスの向上を図る。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
ふれあい収集実施件数	一人暮らしでごみ排出が困難な方を対象に戸別収集を行うことを成果指標とする。	平成28年度	件	100	
ごみの不適正排出の指導件数	ごみステーションに出された分別ができていないごみや市で収集できないごみについて、地元自治会等と連携して警告看板の設置、啓発指導を行ったことを成果指標とする。	平成28年度	件	80	
<b>事業内容</b>	① 平成28年度の実施予定(市内の西部地区) 可燃ごみ 週2回(月・木、火・金)計208回、不燃ごみ 2週間で1回(第2・4水)計24回、資源ごみ 2週間で1回(第1・3・5水)計28回の収集を予定				
	② ごみ分別収集カレンダーの作成、市民への啓発				
	③ ごみ収集車両の点検、検査など維持管理				
	④ 不法投棄防止パトロール、不法投棄の苦情、対処				
	⑤ 問い合わせ、苦情その他連絡調整				
	⑥ 人的資源の活用として、乗組員による「五つの取り組み」実施				
	・ 収集後のごみ置場の清掃				
	・ 市内の学校へのごみ啓発活動				
	・ 自治会など市民団体へのごみ啓発活動				
	・ ごみ置場のパトロールや立ち番の実施				
・ 1人暮らしの高齢者や障害者など要援護世帯へのごみ戸別収集「ふれあい収集」					
⑦ コンプライアンスの徹底と市民サービス向上を推進					

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置 (人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
26決算	49,981	447,160	497,141	0	0	0	497,141			
27当初予算	50,378	414,360	464,738	2	0	0	464,736	正規	47.50	アルバイト 0.00
27決算	44,042	414,360	458,402	0	0	0	458,402	再任用	0.00	その他 0.00
28当初予算	49,538	385,010	434,548	1	0	0	434,547	任期付	0.10	合計 47.60

<b>27年度決算事業費明細</b>	区分(節)	内容	金額	<b>28年度当初予算事業費明細</b>	区分(節)	内容	金額
	需用費	作業用資材、燃料、車両点検修理等	39,573		旅費	廃棄物行政研修	41
	役務費	車両共済分担金、自賠責保険料	2,032		需用費	作業用資材、燃料、車両点検修理等	44,680
	委託料	車庫排水溝等清掃業務委託等	1,388		役務費	車両共済分担金、自賠責保険料	2,072
	備品購入費	放送設備用備品	45		委託料	車庫排水溝等清掃業務委託等	1,530
	公課費	車両重量税	1,004		負担金補助及び交付金	研修参加負担金	15
					公課費	車両重量税	1,200
	<b>合計</b>				44,042	<b>合計</b>	

## 平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0145005000-002	事務事業名	ごみ収集運搬事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	ふれあい収集実施件数	一人暮らしでゴミ排出が困難な方を対象に戸別収集を行うことを成果指標とする。			71	89	100
		平成28年度	件	100			
	ごみの不適正排出の指導件数	ごみステーションに出された分別ができていないごみや市で収集できないごみについて、地元自治会等と連携して警告看板の設置、啓発指導を行ったことを成果指標とする。			67	88	80
		平成28年度	件	80			
<b>指標で表せない成果</b>							
・作業の安全や交通安全に係る職員の意識の向上							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
・直営収集業務については、事業の適正化や効率化を図るとともに、職員改革や民間とのコスト比較、さらには市民サービス向上の観点から、「直営収集業務の将来のあり方」を検討する。						

## 平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名 ごみ収集運搬委託事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0145005000 - 003		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	衛生費	事業所管課				
	項	清掃費	連絡先				
	目	ごみ処理費	(078)918-5780				
	事業	ごみ収集運搬委託事業	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 42 年度	
施策分野		4 生活・環境分野	根拠法令・要綱等 廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
		4-3 環境の保全と創造					
個別計画		一般廃棄物処理基本計画	実施方法		直営	補助・助成	その他
			委託	○	指定管理		
事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）						
	明石市内の一般家庭から排出される家庭系一般廃棄物及び、犬・ねこ等小動物の死体、屋外一斉清掃土砂等の収集運搬業務について、一般廃棄物処理計画に基づき、民間委託を活用し、業務の効率化と人件費の抑制を図る。						
	成果指標						
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値		
犬、ねこ等小動物死体の回収数	飼い主のいない犬、ねこ等の小動物の死体及びペットの死体を回収することを成果指標とする。	平成28年度	体	2,400			
屋外一斉清掃を実施した団体数	自治会等を中心とした地域住民が協力して、道路や水路その周辺などの清掃を行ったのべ団体数を成果指標とする。	平成28年度	のべ団体数	1,200			
事業内容	① 平成28年度の実施予定(市内の東部地区及び西部地区の一部コース) 可燃ごみ 週2回(月・木、火・金)計208回、不燃ごみ 2週間に1回(第1・3水)計24回、資源ごみ 2週間に1回(第2・4・5水)計28回の収集業務の委託						
	② 犬ねこ等小動物の死体収集運搬業務の収集業務の委託(平成27年度実績: 2,279体)						
	③ 屋外一斉清掃収集運搬業務の土砂等の収集業務の委託(平成27年度実績: 779t)						
	④ 犬ねこ等小動物の死体収集受付、屋外一斉清掃の連絡受付等その他連絡調整業務						

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	369,996	17,740	387,736	0	0	0	387,736	正規	2.30	アルバイト	0.00
27当初予算	395,186	18,560	413,746	0	0	3,600	410,146	再任用	0.00	その他	0.00
27決算	386,713	18,560	405,273	0	0	3,146	402,127	任期付	0.20	合計	2.50
28当初予算	413,000	19,150	432,150	0	0	3,600	428,550				

  

27年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		委託料	ごみ収集運搬業務に係る委託料		386,713		委託料
	合計		386,713		合計		413,000

## 平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0145005000-003	事務事業名	ごみ収集運搬委託事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	犬、ねこ等小動物死体の回収数	飼い主のいない犬、ねこ等の小動物の死体及びペットの死体を回収することを成果指標とする。			2,406	2,279	2,400
		平成28年度	体	2,400			
	屋外一斉清掃を実施した団体数	自治会等を中心とした地域住民が協力して、道路や水路その周辺などの清掃を行ったのべ団体数を成果指標とする。			1,119	1,113	1,200
		平成28年度	のべ団体数	1,200			
<b>指標で表せない成果</b>							
・環境美化活動のうち、屋外一斉清掃は、自治会、事業所及び各種ボランティア団体等が美しく住みやすいまちづくりを目指して、自らの居住地やその周辺等の清掃を積極的に実施しており、当該事業で出された土砂・ヘドロ・雑草・空き缶・空き瓶・木の枝・落ち葉などは、市が収集運搬を行っている。 ・この事業は、市民、事業者等及び市が一体となって、環境美化活動を進めることによって、大きな成果を上げている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
・昨年度、西部地区の一部で試行的に導入した指名競争入札による業務委託を拡大した。 今後も、実施状況を調査するとともに、「直営収集業務の将来のあり方」との整合性を図りながら、安定的な収集体制を確保できる制限付一般競争入札の導入を検討していく。						



## 平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0145005000-004	事務事業名	ごみ収集車両購入事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	環境対応型車両の配備	ごみ収集車両を環境対応型車両に更新することにより燃料費の縮減及び地球環境の保全に貢献する。			天然ガス車 6 BDF車 7 ハイブリッド車 2 クリーンディーゼル車 4 計 19	天然ガス車 5 BDF車 6 ハイブリッド車 2 クリーンディーゼル車 5 計 18	天然ガス車 5 BDF車 8 ハイブリッド車 2 クリーンディーゼル車 7 計 22
		H28年度	台	2			
<b>指標で表せない成果</b>							
・燃料費の縮減による消費エネルギーの削減及び温室効果ガス排出抑制は、地球温暖化対策へつながってゆくものである。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
・老朽車両の更新サイクルが延びているため、特にごみを積載する架装部分の修繕費が年々増加しており、計画的な車両の更新が必要となっている。						

## 平成28年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	粗大ごみ収集運搬事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0145005000 - 005			
		<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	衛生費						
	<b>項</b>	清掃費	<b>事業所管課</b>	環境部収集事業課				
	<b>目</b>	ごみ処理費	<b>連絡先</b>	(078)918-5780				
	<b>事業</b>	粗大ごみ収集運搬事業	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 16 年度		
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野	<b>根拠法令・要綱等</b>	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
	4-3 環境の保全と創造							
<b>個別計画</b>	一般廃棄物処理基本計画	<b>実施方法</b>	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
			委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		

**事業の目的・目標**  
**目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）**  
 明石市内の一般家庭から排出される粗大ごみを一般廃棄物処理計画に基づき、有料で戸別収集を行い、適正処理と資源化を実施する。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
粗大ごみ収集量	粗大ごみ収集による適正処理、資源化を行う。	平成28年度	t	580
受付センター受付等業務件数	長時間の受付業務を行うことにより、より多くの市民からの収集申込や問い合わせ等に応じる。	平成28年度	件	51,000

**事業内容**  
 平成28年度の実施予定  
 ・粗大ごみの収集を行う。  
 ・処理手数料については、1点につき、300円から1,800円まで粗大ごみ処理券@300円×67,877枚(平成27年度の売払い実績)  
 <処理の流れ>  
 ①粗大ごみの収集について、あらかじめ粗大ごみ受付センターへ電話による申し込み・受付を行う。  
 ②粗大ごみ処理券を購入する。  
 ③粗大ごみ処理券を貼って受付時に決めた場所へ出す。  
 ④市が収集する。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	24,881	67,760	92,641	0	0	0	92,641	正規	8.20	アルバイト	0.00
27当初予算	27,393	68,580	95,973	0	0	21,000	74,973	再任用	0.00	その他	0.00
27決算	25,786	68,580	94,366	0	0	20,363	74,003	任期付	0.20	合計	8.40
28当初予算	26,704	66,940	93,644	0	0	21,000	72,644				

27年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	粗大ごみ処理券印刷、燃料費等	5,002		需用費	粗大ごみ処理券印刷、燃料費等	5,330
役務費	粗大ごみ処理券販売手数料 車両共済分担金等	2,351	役務費	粗大ごみ処理券販売手数料 車両共済分担金等	2,656		
委託料	粗大ごみ受付等業務委託	14,558	委託料	粗大ごみ受付業務委託	14,559		
使用料及び賃借料	粗大ごみ受付システム機器リース料	3,707	使用料及び賃借料	粗大ごみ受付システム機器リース料	3,999		
備品購入費	携帯電話機	26	公課費	車両重量税	160		
公課費	車両重量税	142					
<b>合計</b>			25,786	<b>合計</b>			26,704

## 平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0145005000-005	事務事業名	粗大ごみ収集運搬事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	粗大ごみ収集量	粗大ごみ収集による適正処理、資源化を行う。			575	583	580
		平成28年度	t	580			
	受付センター受付等業務件数	長時間の受付業務を行うことにより、より多くの市民からの収集申込や問い合わせ等に応じる。			50,001	50,568	51,000
		平成28年度	件	51,000			
<b>指標で表せない成果</b>							
・平成16年10月から開始した、粗大ごみの戸別有料収集も定着しており、収集量も安定し、実施方法等の問い合わせ件数も減少している。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
・直営収集業務については、事業の適正化や効率化を図るとともに、職員改革や民間とのコスト比較、さらには市民サービス向上の観点から、「直営収集業務の将来のあり方」を検討する。						

# 平成28年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	清掃総務一般事務事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0145006000 - 001				
		分割/統合							
		事業の分割/統合の内容							
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	衛生費	事業所管課	環境部明石クリーンセンター					
	項	清掃費	連絡先	(078)918-5790、(078)918-5740					
	目	清掃総務費	自治/法定	自治+法定	開始年度	昭和 42 年度			
	事業	清掃総務一般事務事業	根拠法令・要綱等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、明石市廃棄物の処理及び清掃に関する条例、浄化槽法				
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野		実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
	4-3 環境の保全と創造			委託	○	指定管理			
<b>個別計画</b>	一般廃棄物処理基本計画								

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	明石クリーンセンター職員及び環境保全管理委員会委員 一般廃棄物のし尿及び浄化槽汚泥・廃棄物処理業務に係る一般管理業務を適正かつ効率的に執行する。 ・収集したし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理するための関連業務を適正かつ効率的に実施する。 ・浄化槽が適正に維持管理されるよう啓発、指導事務を実施する。				
	<b>成果指標</b>				
		<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>
	公務災害件数	適正な業務環境の整備により、安全衛生的に業務が遂行され、無災害が保たれる。	平成28年度	件	0
	浄化槽関連苦情件数	適正に浄化槽が維持管理されることにより苦情件数を減らす。	平成28年度	件	0
<b>事業内容</b>	①環境保全管理委員会 クリーンセンター周辺の8地区を対象に、環境保全管理委員会を開催。 平成26年度 5回 平成27年度 5回 平成28年度 5回予定				
	②各種講習会、研修会への参加 廃棄物処理に係る資格取得等のため、講習会、研修会に参加。 平成26年度 7回 平成27年度 7回 平成28年度 7回予定				
	③庁舎等清掃業務委託 管理棟の清掃等を行う。				
	④廃棄物処理関係団体への負担金 関西電気協会外1団体への年会費。				
	⑤その他、消耗品、備品購入 職員の被服購入や施設の備品購入を行う。				
	⑥廃棄物処理(し尿及び浄化槽汚泥等)を行うための事務 し尿を収集(2委託業者)し、処理(二見浄化センター):平成26年度 2,228kl、平成27年度 1,995kl、平成28年度 1,900kl(見込み) 浄化槽汚泥等を収集(7許可業者)し、処理(二見浄化センター):平成26年度 3,013kl、平成27年度 2,906kl、平成28年度 3,000kl(見込み)				
	⑦浄化槽の適正管理の指導 【浄化槽の設置基数】 平成26年度末 1,830基、平成27年度末 1,721基、平成28年度末 1,680基(見込み)				
	⑧浄化槽設置届等の各種届出の受理 【浄化槽法の兵庫県移譲事務取扱件数】各年10月報告 平成26年 1,603件、平成27年 1,432件、平成28年 1,305件(見込み)				
	⑨植木剪定等業務委託 旧環境第1課(魚住清掃工場)内の樹木の刈込、除草を行う。				

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	8,157	24,390	32,547	0	0	0	32,547	正規	2.50	アルバイト	0.00
27当初予算	11,418	23,980	35,398	783	0	1,445	33,170	再任用	1.00	その他	0.00
27決算	8,662	23,980	32,642	0	0	0	32,642	任期付	1.00	合計	4.50
28当初予算	11,333	26,250	37,583	672	0	1,159	35,752				

27年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	近接旅費、講習・研修会旅費	499		旅費	近接旅費、講習・研修会旅費	877
需用費	消耗品費、印刷製本費、修繕料、食糧費	3,360	需用費	消耗品費、印刷製本費、修繕料、食糧費	3,660		
委託料	庁舎清掃業務、施設周辺道路清掃業務、植木剪定等業務	3,391	委託料	庁舎清掃業務、施設周辺道路清掃業務、植木剪定等業務	5,190		
使用料及び賃借料	コピー使用料等	731	使用料及び賃借料	コピー使用料等	547		
負担金補助及び交付金	各種年会費、講習等受講料	540	負担金補助及び交付金	各種年会費、講習等受講料	783		
その他	役務費(電話料金、手数料)、備品購入費、公課費	141	その他	役務費(電話料金、手数料)、備品購入費、公課費	276		
<b>合計</b>			8,662	<b>合計</b>			11,333

## 平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0145006000-001	事務事業名	清掃総務一般事務事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	公務災害件数	適正な業務環境の整備により、安全衛生的に業務が遂行され、無災害が保たれる。			0	0	0
		平成28年度	件	0			
	浄化槽関連苦情件数	適正に浄化槽が維持管理されることにより苦情件数を減らす。			4	3	0
		平成28年度	件	0			
<b>指標で表せない成果</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物処理に係る資格取得等のための講習会、研修会への積極的な参加により、職員の資質向上が図られており、少ない人数で適正かつ効率的に各事業が行われている。</li> <li>・収集したし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理するための関連事務が円滑に執行された。</li> <li>・浄化槽の指導に対する市民の理解、努力具合</li> </ul>							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・焼却施設、破砕選別施設、最終処分場の包括業務委託を導入し、職員数の減など清掃総務事業にかかる経費の節減を行ってきた。</li> <li>・今後も引き続き効率的な事業運営に努めていく。</li> </ul>						

## 平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	廃棄物処理事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0145006000 - 002		
		分割/統合					
		事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	環境部明石クリーンセンター			
	款	衛生費	連絡先	(078)918-5790			
	項	清掃費	自治/法定	自治事務	開始年度	不明	
	目	ごみ処理費	根拠法令・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、明石市廃棄物の処理及び清掃に関する条例			
	事業	廃棄物処理事業		実施方法	直営	○	補助・助成
施策分野	4 生活・環境分野		委託	○	指定管理		
	4-3 環境の保全と創造						
個別計画	一般廃棄物処理基本計画						

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	搬入廃棄物及び埋立対象廃棄物の適正処理・処理不適物の搬入防止・焼却灰のセメント原料化及び、最終処分場における適正な埋め立て処理を行うとともに、最終処分場の適切な維持管理を行う。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
計画埋立率	第3次最終処分場建設時の計画埋立率 (計画埋立量÷最終処分場容積)	平成28年度	%	53.17	
実埋立率	第3次最終処分場供用開始後の実埋立率 (実埋立量÷最終処分場容積)	平成28年度	%	27.18	
事業内容	①廃棄物について搬入段階での可燃・不燃ごみの分別状況及び不適物の検査を行い、焼却施設や破碎選別施設への処理不適物の搬入を防止する。 ②最終処分場の適正な維持管理及び延命化の推進を行う。 埋立率: 累積埋立量/最終処分場容積 *100 (平成19年度供用開始 第3次最終処分場 355,007㎡(平成28年3月末現在) (第2次最終処分場残余容量 65,949㎡(平成28年3月末現在)) 平成26年度 計画時埋立率 42.63% 実埋立率 20.97% 平成27年度 計画時埋立率 47.90% 実埋立率 23.70% 平成28年度 計画時埋立率 53.17% 実埋立率 27.18%(見込み) ③搬入廃棄物検査による不適物の搬入防止や、搬入廃棄物から分離される焼却鉄、破碎鉄、ガラスカレットの資源化により、最終処分量の削減を実施した。 ④明石クリーンセンターで発生する焼却灰をセメント原料とすることで、最終処分場の延命化と資源化率向上を目標とする。				

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	94,717	89,960	184,677	0	0	0	184,677	正規	8.15	アルバイト	0.00
27当初予算	108,193	77,130	185,323	0	0	5,631	179,692	再任用	1.85	その他	1.00
27決算	97,103	77,130	174,233	0	0	0	174,233	任期付	1.00	合計	12.00
28当初予算	126,297	77,605	203,902	0	10,000	6,520	187,382				

27年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	修繕料、消耗品等	14,168		需用費	修繕料、消耗品等	17,610
役務費	自動車損害保険料等	741	役務費	自動車損害保険料等	764		
委託料	最終処分場維持管理業務、搬入廃棄物検査業務等	79,307	委託料	最終処分場維持管理業務、搬入廃棄物検査業務、焼却灰セメント処理業務等	104,726		
使用料及び賃借料	ショベルローダー等賃借料、自己搬入受付システムリース料	2,555	使用料及び賃借料	ショベルローダー等賃借料、自己搬入受付システムリース料	2,890		
公課費	自動車重量税	332	公課費	自動車重量税	307		
合計			97,103	合計			126,297

## 平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0145006000-002	事務事業名	廃棄物処理事業
------	----------------	-------	---------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	計画埋立率	第3次最終処分場建設時の計画埋立率 (計画埋立量÷最終処分場容積)			43	48	53
		平成28年度	%	53.17			
	実埋立率	第3次最終処分場供用開始後の実埋立率 (実埋立量÷最終処分場容積)			21	24	27
		平成28年度	%	27.18			
<b>指標で表せない成果</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・搬入される廃棄物の検査は、ゴミピットへ投入される前に実施することで、処理に適さない物や分別が十分に行なわれていない廃棄物を排除し、施設の安定運転に寄与している。</li> <li>・最終処分場維持管理業務委託については、焼却施設等から搬出される焼却灰や不燃物の埋立、フェニックス事業への搬送を行なう業務であり、灰ピットや貯留ホッパーに滞ること無く処分されている。</li> </ul>							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺自治会との取り決めである灌漑用深井戸設備の保守に係る費用や、市民に開放している施設の管理に関する費用も含まれているため維持が妥当である。</li> <li>・最終処分場維持管理業務委託は焼却施設及び破碎選別施設が稼働を続ける限り継続する。</li> </ul>						

## 平成28年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	焼却施設運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0145006000 - 003	
		分割/統合				
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>			
	<b>款</b>	衛生費	<b>事業所管課</b>	環境部明石クリーンセンター		
	<b>項</b>	清掃費	<b>連絡先</b>	(078)918-5790		
	<b>目</b>	ごみ処理費	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	不明
	<b>事業</b>	焼却施設運営事業	<b>根拠法令・要綱等</b>	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、明石市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野	<b>実施方法</b>	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>
	4-3 環境の保全と創造		委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>
<b>個別計画</b>	一般廃棄物処理基本計画					

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	焼却処理の対象となる廃棄物・収集及び自己搬入等で施設へ搬入された可燃ごみを焼却することにより減量を図るとともに、そのエネルギーを利用して発電を行う。併せて焼却施設の適正な維持管理を行う。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	減量率	焼却によって発生する焼却灰(t) ÷ 可燃ごみ焼却量(t)	平成28年度	%	14.95
	発電量	焼却によって発生する電力量(kWh) ÷ 可燃ごみ焼却量(t)	平成28年度	kWh/t	400
<b>事業内容</b>	①市内より搬入された可燃ごみ、破砕選別施設から搬送される可燃ごみを焼却炉で焼却(24時間連続運転)することで減量を図る。 減量率: 焼却灰/ごみ焼却量 *100 % 平成26年度 14.95% 平成27年度 15.79% 平成28年度 14.95%(見込み)				
	②焼却により発生する熱エネルギーを蒸気に変換して発電を行い、余剰電力を売却する。 発電量: 電力量/ごみ焼却量 平成26年度 404 kWh/t 平成27年度 414 kWh/t 平成28年度 400 kWh/t(見込み) 売却額 平成26年度 516,489千円 平成27年度 492,023千円 平成28年度 485,000千円(見込み)				
	③焼却廃棄物に混入される金属類(焼却鉄)を売却する。 売却額 平成26年度 6,496千円 平成27年度 1,425千円 平成28年度 553千円(見込み)				
	④焼却施設(平成11年4月稼働開始)の保全工事の実施。 ・機械設備保全工事(2カ年事業1年目) ・電気設備保全工事(2カ年事業2年目)				

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	1,013,086	22,140	1,035,226	0	0	0	1,035,226	正規	2.20	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
27当初予算	1,224,062	18,040	1,242,102	0	400,000	538,238	303,864	再任用	0.05	その他	0.00
27決算	1,215,421	18,040	1,233,461	0	0	0	1,233,461	任期付	0.00	合計	2.25
28当初予算	1,417,720	17,990	1,435,710	0	595,200	535,402	305,108				

27年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	消耗品費、燃料費	33,319		需用費	消耗品費、燃料費	40,680
	委託料	焼却施設等包括管理業務	782,037		委託料	焼却施設等包括管理業務	780,256
	工事請負費	電気設備保全工事、機械設備保全工事	398,791		工事請負費	電気設備保全工事、機械設備保全工事	595,259
	公課費	汚染負荷量賦課金	1,274		公課費	汚染負荷量賦課金	1,525
	<b>合計</b>		1,215,421		<b>合計</b>		1,417,720

## 平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0145006000-003	事務事業名	焼却施設運営事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	減量率	焼却によって発生する焼却灰(t) ÷ 可燃ごみ焼却量(t)			14.95	15.79	14.95
		平成28年度	%	14.95			
	発電量	焼却によって発生する電力量(kWh) ÷ 可燃ごみ焼却量(t)			400	414	400
平成28年度		kWh/t	400				
<b>指標で表せない成果</b>							
・焼却施設は、市内で発生する可燃ごみと破碎選別施設に搬入された粗大ごみ等から排出される可燃ごみを焼却処分し、減量化する市内唯一の施設である。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
・平成19年度行政評価において「余熱を利用した発電により施設内の電力をまかない、加えて余剰電力を売却するなど経営の効率化を図るとともに、環境に配慮している。」と外部評価を受けた事業であり、今後も費用対効果の高い状態で運転を継続していくことが必要である。						

## 平成28年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	廃棄物広域処理事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0145006000 - 004		
		分割/統合					
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	衛生費					
	項	清掃費					
	目	ごみ処理費					
	事業	廃棄物広域処理事業					
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野	<b>事業所管課</b>	環境部明石クリーンセンター				
	4-3 環境の保全と創造		<b>連絡先</b>	(078)918-5790			
<b>個別計画</b>	一般廃棄物処理基本計画	<b>自治/法定</b>		自治事務	<b>開始年度</b>	昭和 57 年度	
		<b>根拠法令・要綱等</b>	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、広域臨海環境整備センター法				
		<b>実施方法</b>	直営	補助・助成	その他		
			委託	○	指定管理		

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	明石クリーンセンター焼却施設より発生する焼却灰。広域臨海環境整備センター法に基づき、大阪湾圏域における廃棄物の広域処理（通称：大阪湾フェニックス事業）を推進するとともに、生活環境の保全を図る。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
処分量	大阪湾広域廃棄物埋立処分場での焼却灰等の処分量を指標とする。	平成28年度	トン	4,200	

<b>事業内容</b>	①焼却灰等処分業務委託 明石クリーンセンターから発生する焼却灰のうち、年間約4,200tの処分を行う。 平成26年度 6,997t 平成27年度 6,997t 平成28年度 4,200t（見込み） ②大阪湾広域廃棄物埋立処分場整備事業建設委託 埋立処分場建設に係る費用の本市負担分。				
-------------	---	--	--	--	--

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	50,706	2,050	52,756	0	0	0	52,756	正規	0.25	アルバイト	0.00
27当初予算	65,355	2,050	67,405	0	0	0	67,405	再任用	0.05	その他	0.00
27決算	65,311	2,050	67,361	0	0	0	67,361	任期付	0.00	合計	0.30
28当初予算	40,055	2,195	42,250	0	0	0	42,250				

27年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	委託料	焼却灰等処分業務、大阪湾広域廃棄物埋立処分場整備事業建設委託、焼却灰分析業務委託	65,311			委託料	焼却灰等処分業務、大阪湾広域廃棄物埋立処分場整備事業建設委託、焼却灰分析業務委託
	<b>合計</b>		65,311		<b>合計</b>		40,055

## 平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0145006000-004	事務事業名	廃棄物広域処理事業
------	----------------	-------	-----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	処分量	大阪湾広域廃棄物埋立処分場での焼却灰等の処分量を指標とする。			6,997	6,997	4,200
		平成28年度	トン	4,200			
<b>指標で表せない成果</b>							
・当事業により、最終処分場の延命化が図られている。 平成27年度 焼却灰発生量 15,706t(内、最終処分場埋立量 8,709t)							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
・当事業により最終処分場の延命化が図られており、今後も引き続き大阪湾広域臨海環境整備事業に参画し、焼却灰の処分を行う。						

## 平成28年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	破砕選別施設運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0145006000 - 005	
		分割/統合				
		事業の分割/統合の内容				
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計	事業所管課		環境部明石クリーンセンター	
	款	衛生費	連絡先		(078)918-5790	
	項	清掃費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 11 年度
	目	ごみ処理費	根拠法令・要綱等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、明石市 廃棄物の処理及び清掃に関する条例	
	事業	破砕選別施設運営事業	実施方法		直営	○ 補助・助成
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野				委託	○ 指定管理
<b>個別計画</b>	一般廃棄物処理基本計画					

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	資源ごみ及び破砕処理対象の廃棄物・収集された資源ごみ及び破砕対象ごみを適正に分別し、リサイクルを推進するとともに、破砕選別施設の適正な維持管理を行う。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	資源化率	破砕選別施設を稼働させることにより、資源ごみ・粗大ごみ・一般不燃ごみ・集団回収ごみを資源化に適した状態に選別・処理し、資源化したものを指標とする。	平成28年度	%	29.8
	減量率	破砕選別施設受入量に対して、破砕選別施設において選別・処理後に発生した埋立量(灰・不燃物)の割合を指標とする。	平成28年度	%	10.25
<b>事業内容</b>	①収集された資源ごみ(カン、ビン、ペットボトル)及び、粗大ごみ・一般不燃ごみを破砕選別施設で選別・処理を行い、適正に分別し資源化を促進する。 資源化率: 資源化量/破砕選別施設受入量 *100 平成26年度 31.67% 平成27年度 26.63% 平成28年度 29.80%(見込み)				
	②破砕対象ごみを適正に分別することにより、最終処分場の延命化を図る。 減量率: 埋立処分場/破砕選別施設受入量 *100 平成26年度 10.85% 平成27年度 12.18% 平成28年度 10.25%(見込み)				
	③破砕選別施設(平成11年4月稼働開始)の保全工事の実施。 ・機械設備保全工事 ・包括管理事業(5ヵ年事業2年目)				

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	258,138	13,120	271,258	0	0	0	271,258	正規	1.30	アルバイト	0.00
27当初予算	385,710	10,660	396,370	0	159,700	81,931	154,739	再任用	0.05	その他	0.00
27決算	363,475	10,660	374,135	0	0	0	374,135	任期付	0.00	合計	1.35
28当初予算	352,866	10,700	363,566	0	138,400	56,978	168,188				

<b>27年度決算事業費明細</b>	区分(節)	内容	金額	<b>28年度当初予算事業費明細</b>	区分(節)	内容	金額
	需用費	消耗品費等	94		需用費	消耗品費等	140
	委託料	包括管理事業、再商品化業務、ガラスカレット再商品化業務	213,442		委託料	包括管理事業、再商品化業務、ガラスカレット再商品化業務	214,177
	工事請負費	包括管理事業、機械設備保全工事、電気設備保全工事	149,939		工事請負費	包括管理事業、機械設備保全工事	138,459
					備品購入費	築圧式粉末ABC消火器	90
	<b>合計</b>				363,475	<b>合計</b>	

## 平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0145006000-005	事務事業名	破砕選別施設運営事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	資源化率	破砕選別施設を稼働させることにより、資源ごみ・粗大ごみ・一般不燃ごみ・集団回収ごみを資源化に適した状態に選別・処理し、資源化したものを指標とする。			32	27	30
		平成28年度	%	29.8			
	減量率	破砕選別施設受入量に対して、破砕選別施設において選別・処理後に発生した埋立量(灰・不燃物)の割合を指標とする。			11	12	10
平成28年度		%	10.25				
<b>指標で表せない成果</b>							
破砕選別施設は、大型不燃ごみ等の破砕設備と資源ごみ(缶・びん・ペットボトル)を分別圧縮する市内唯一の施設である。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
	平成20年度行政評価において「資源化率が向上し、さらには破砕対象ごみを適正に分別し、減量率を改善したことにより最終処分場の延命化に寄与するなど効率性は認められる。」という外部評価で「A」を受けた事業であり、市内に1箇所しかない施設であるため、今後も費用対効果の高い状態で運転を継続していくことが必要である。					

## 平成28年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	一般廃棄物処理施設整備基金積立金	新規/継続	継続事業	整理番号	0145006000 - 006		
		分割/統合					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	<b>款</b>	衛生費					
	<b>項</b>	清掃費					
	<b>目</b>	ごみ処理費					
	<b>事業</b>	一般廃棄物処理施設整備基金積立金					
<b>事業所管課</b>	環境部明石クリーンセンター						
	<b>連絡先</b>	(078)918-5790					
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野		<b>自治/法定</b>	自治事務		<b>開始年度</b>	平成 25 年度
	4-3 環境の保全と創造			<b>根拠法令・要綱等</b> 明石市一般廃棄物処理施設整備基金条例			
<b>個別計画</b>	一般廃棄物処理基本計画		<b>実施方法</b>				
				委託		指定管理	

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	一般廃棄物処理施設整備の基金積立・一般廃棄物処理施設の整備を行う費用の一部として基金を設置し積み立てる。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	基金累積積立額	年度末時点での基金累積積立額	平成28年度	千円	767,030
<b>事業内容</b>	一般廃棄物処理施設の整備を行う費用の一部とするため、電力売却収入の一部及びメガソーラー発電収入等を財源として基金を積み立てる。 ・平成25年度までの基金累積積立額：150,030千円 ・平成26年度基金積立額：221,000千円（内訳） 電力売却収入209,911千円、メガソーラー発電収入2,571千円、メガソーラー施設行政財産使用料8,120千円、基金運用利子398千円 ・平成27年度基金積立額：201,380千円（内訳） 電力売却収入192,023千円、メガソーラー発電収入1,038千円、メガソーラー施設行政財産使用料8,120千円、基金運用利子199千円 ・平成28年度基金積立額：194,620千円（見込み）（内訳） 電力売却収入185,000千円、メガソーラー発電収入1,100千円、メガソーラー施設行政財産使用料8,120千円、基金運用利子400千円				

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	221,000	820	221,820	0	0	0	221,820	正規	0.10	アルバイト	0.00
27当初予算	211,720	820	212,540	0	0	211,720	820	再任用	0.00	その他	0.00
27決算	201,380	820	202,200	0	0	0	202,200	任期付	0.00	合計	0.10
28当初予算	194,620	810	195,430	0	0	194,620	810				

27年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	積立金	一般廃棄物処理施設整備基金積立	201,380			積立金	一般廃棄物処理施設整備基金積立
	<b>合計</b>		201,380		<b>合計</b>		194,620

## 平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0145006000-006	事務事業名	一般廃棄物処理施設整備基金積立金
------	----------------	-------	------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	基金累積積立額	年度末時点での基金累積積立額			371,030	572,410	767,030
		平成28年度	千円	767,030			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到に「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物処理施設の整備方針を検討し、コスト比較を行い、必要となる費用について精査を行う。</li> <li>・ごみ焼却による安定した発電を継続し、財源確保に努める。</li> </ul>						

# 平成28年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	し尿収集処理事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0145006000 - 007				
		分割/統合							
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	衛生費							
	項	清掃費							
	目	し尿処理費							
	事業	し尿収集処理事業							
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野		<b>事業所管課</b>	環境部明石クリーンセンター					
	4-3 環境の保全と創造		<b>連絡先</b>	(078)918-5740					
<b>個別計画</b>	一般廃棄物処理基本計画		<b>自治/法定</b>	自治事務	開始年度	昭和 31 年度			
			<b>根拠法令・要綱等</b>	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(第6条の2)					
			<b>実施方法</b>	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="radio"/>	その他	<input type="radio"/>
				委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>					
	市内の一般家庭、事業所に設置する汲り便所及び工事現場等に設置する仮設便所から発生するし尿及び浄化槽汚泥・下水道の普及によって、し尿汲み取り家屋が点在化しているが、衛生的な生活環境を保つために、し尿収集を適正に行くと共に、効率化に努める。同様に、浄化槽の適正維持管理に必要な槽内清掃時に発生する汚泥の収集を行う。 ・収集したし尿及び浄化槽汚泥は、二見浄化センターへ運搬し、適正に処理する。					
	<b>成果指標</b>					
		<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
		1ℓ当たり収集処理経費	総事業費(参考値)÷し尿及び浄化槽汚泥処理量	平成28年度	円/ℓ	17
	し尿収集に係る苦情件数	適正なし尿収集を実施することにより苦情件数を減らす。	平成28年度	件	0	
<b>事業内容</b>	①し尿収集運搬業務及び手数料徴収業務等に係る管理事務					
	②全市委託によるし尿の収集運搬 【し尿収集委託戸数】前年度10月1日現在 平成26年度 1,248戸 平成27年度 1,172戸 平成28年度 1,100戸(見込み)					
	③一般家庭、事業所等から発生するし尿及び浄化槽汚泥を適正に収集し、下水処理場の二見浄化センターへ運搬し処理する。 し尿量 : 平成26年度2,228kl、平成27年度1,995kl、平成28年度1,900kl(見込み) 浄化槽汚泥量 : 平成26年度3,013kl、平成27年度2,906kl、平成28年度3,000kl(見込み)					

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	80,023	9,570	89,593	0	0	0	89,593	正規	1.10	アルバイト	0.00
27当初予算	86,579	12,170	98,749	0	0	28,900	69,849	再任用	0.00	その他	0.00
27決算	78,312	12,170	90,482	0	0	0	90,482	任期付	2.00	合計	3.10
28当初予算	87,568	14,110	101,678	0	0	31,700	69,978				

区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
需用費	消耗品費、印刷製本費	84		需用費	消耗品費、印刷製本費	810
役務費	し尿処理券販売手数料、電話代	493		役務費	し尿処理券販売手数料、電話代	758
委託料	し尿収集運搬業務委託	64,722		委託料	し尿収集運搬業務委託	68,000
負担金補助及び交付金	下水道負担金	13,013		負担金補助及び交付金	下水道負担金	18,000
<b>合計</b>		78,312		<b>合計</b>		87,568

## 平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0145006000-007	事務事業名	し尿収集処理事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	1ℓ当り収集処理経費	総事業費(参考値)÷し尿及び浄化槽汚泥処理量			15.3 (収集+下水道処理施設維持管理費及び処理費を含む)	16.0 (左に同じ)	17 (左に同じ)
		平成28年度	円/ℓ	17			
	し尿収集に係る苦情件数	適正なし尿収集を実施することにより苦情件数を減らす。			1	0	0
		平成28年度	件	0			
<b>指標で表せない成果</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・し尿収集に係る住民対応。</li> <li>・市内に、分散して残る汲取家屋のし尿収集を、滞ることなく行っている。</li> </ul>							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道の整備に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法の主旨に則った転廃業助成措置が平成28年度で終了するため、平成29年度以降の収集体制の検討が必要。</li> <li>・今後も、下水道の普及が進んでいくが、当面、し尿の収集処理事業は継続することになる。</li> </ul>						

## 平成28年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	魚住清掃工場施設安全対策事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0145006000 - 008				
		分割/統合							
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	衛生費	事業所管課	環境部明石クリーンセンター					
	項	清掃費	連絡先	(078)918-5740					
	目	し尿処理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 24 年度			
	事業	魚住清掃工場施設安全対策事業	根拠法令・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野		<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成		その他	
	4-3 環境の保全と創造			委託	○	指定管理			
<b>個別計画</b>	一般廃棄物処理基本計画								

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	平成22年度に廃止した魚住清掃工場を含む旧環境第1課の施設及び用地について、周辺環境に影響を及ぼさないよう安全性の確保を図る。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
事業の進捗状況	安全対策事業完了実績(累積)	平成28年度	件数	18	

<b>事業内容</b>	<p>魚住清掃工場施設安全対策事業</p> <p>平成26年度以前の主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 魚住清掃工場土壌調査業務委託(H25済)</li> <li>② 焼却炉解体工事(H25済)</li> <li>③ 放流管撤去工事(H25:1期目済)</li> <li>④ 旧魚住清掃工場用地確定業務委託(H25~H26済)</li> <li>⑤ 土壌入替ほか工事(H26済)</li> </ul> <p>平成27年度に実施した事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 放流管撤去工事(H26~H27:2期目済)</li> <li>② 井水導水管撤去工事(H26~H27済)</li> <li>③ 高圧変圧器等絶縁油処理業務委託(H27済)</li> <li>④ 高圧変圧器等絶縁油収集運搬業務委託(H27済)</li> </ul> <p>平成28年度に実施予定の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 高圧変圧器等絶縁油処理業務委託</li> <li>② 旧環境第1課跡地分筆業務委託</li> </ul> <p>平成29年度以降に実施予定の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 井水導水管撤去工事(2期目)</li> </ul>
-------------	---

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	28,494	4,100	32,594	0	0	0	32,594	正規	0.40	アルバイト	0.00
27当初予算	3,138	2,050	5,188	0	0	0	5,188	再任用	0.00	その他	0.00
27決算	11,709	2,050	13,759	0	0	0	13,759	任期付	0.00	合計	0.40
28当初予算	2,400	3,240	5,640	0	0	0	5,640				

27年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	委託料	高圧変圧器等絶縁油処理業務、高圧変圧器等絶縁油収集運搬業務	3,053		委託料	旧環境第1課(魚住清掃工場)跡地分筆業務、高圧変圧器等絶縁油処理業務	2,400
工事請負費	旧魚住清掃工場放流管撤去工事	8,656					
	<b>合計</b>		11,709		<b>合計</b>		2,400

## 平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0145006000-008	事務事業名	魚住清掃工場施設安全対策事業
------	----------------	-------	----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	事業の進捗状況	安全対策事業完了実績(累積)			12	16	18
		平成28年度	件数	18			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧環境第1課の施設及び用地の安全対策事業を円滑に実施していく。</li> <li>・土地の分筆登記及び明石市立西部学校給食センター部分の土地を教育委員会へ所管換を行った。</li> </ul>						